

コロナ休校から考える



385名の

発達凸凹キッズの  
ママの声から決定！

# ママの理想の働き方 まるわかりBOOK

発達科学コミュニケーションで起業した

☆ **15組**の親子の成長ストーリー！ ☆  
\* \* \* \*



理想No.1の在宅ワーカーママが告白！

知って  
おきたい

在宅ワークの  
メリット・デメリット



パステル総研

PASTEL  
Research Institute

こんにちは！

子どもの発達グレーゾーンの悩みごとを、  
大人に持ち越さないことを目指すリサーチ機関・パステル総研です。

発達障害やグレーゾーンの正しい知識と対応を伝えることで、  
子どもたちが生きやすい時代をつくるきっかけづくりをしています。

新型コロナウイルスの影響で一斉休校が始まり、もうすぐ3ヶ月。

緊急事態宣言が解除され、  
学校が再開している地域もあるなど徐々に日常が戻りつつあります。

- ・ 3ヶ月という異例の長さの長期休暇
- ・ 学童や保育園に預けることもできない
- ・ 1日中子どもにつきっきり・・・



こんな状況の中、  
ワーキングマザーの方も専業主婦の方も  
今まで直面してこなかった様々な問題に悩んだ方は  
多いのではないのでしょうか？

さらに新型コロナウイルスの騒動は、  
経済に大きな損失をもたらしており、企業も次々と倒産しています。

さらに、テレワークの導入などIT化が一気に進み  
私たちを取り巻く状況は急激な変化を遂げています。

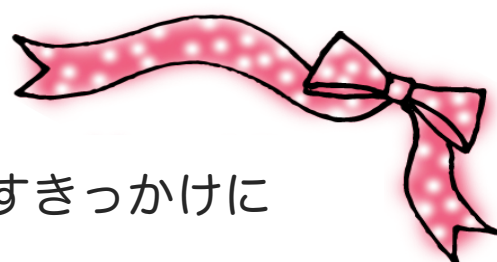
つまり、コロナウイルスが収束に向かっても  
コロナ以前の常識はもう通用しない、ということです。

特に発達障害グレーゾーンの子育てをするお母さんは  
子どものことで手一杯で、  
自分の生き方を考えるのは後回しになりがちです。

しかし、お母さんが自分の生き方を真剣に考えることで  
子育てと仕事を両立させることに成功しているメンバーが  
発達科学ラボにはたくさんいます！

発達障害・グレーゾーンの子どもを持つお母さんには  
自分の生き方を真剣に考えてほしい！  
自分の手で子育ての困りごとを解決する力を手に入れてほしい！

そんな想いをこの1冊にまとめました。  
ぜひ、お母さんのライフスタイルを見直すきっかけに  
していただければうれしいです。



## はじめに



親子のコミュニケーションをスムーズにして  
子どもの成長を加速する！

「発達科学コミュニケーション」代表の吉野加容子です。

私の専門である脳科学を生かしたコミュニケーション術で、  
発達障害やグレーゾーンの子どもの発達を加速したい  
**凄腕ママを育成する**専門家です！

この小冊子では、コロナ休校に関するアンケート結果から、  
パステルキッズのママだからこそ、子育ても仕事もうまくいく方法で  
子どもの成長にプラスになるこれからの理想の働き方について  
第1章で提案しています。

また、発達科学を学びながら  
仕事にしている15組の親子の成長ストーリーや、  
トレーナー・リサーチャーに興味をもたれた方のために  
発達科学ラボの仕組みについて説明していますので、  
ぜひご覧くださいね！

この小冊子をご覧いただいて、これからの生き方を考えるヒントに  
していただければとても嬉しいです^^

## 1. アンケートから考える！理想の働き方とは？

### ◆働き方の新常識

コロナ休校から考える、  
発達凹凸のママの働き方の新常識とは？

### ◆絶対に必要な条件

発達凸凹キッズを抱えるママに聞きました！  
これからの働き方に必要な絶対ルールとは？

### ◆理想の働き方No.1とは？

今こそ、発達凸凹キッズのママの生き方や  
働き方を見直すチャンス！

## 2. 発コミュで起業した15組の親子の成長ストーリー

発コミュで子育ての悩みを解決し、  
発達科学ラボでトレーナー・リサーチャーとして  
子育てと仕事を両立させることを決意した  
15組の親子の成長ストーリーをご紹介します！

## 3. 発達科学ラボの仕組み

- ◆発達科学コミュニケーションとは？
- ◆トレーナー・リサーチャーとは？
- ◆トレーナー・リサーチャーになるには？
- ◆起業したい、フリーで働きたいママへ

01

アンケートから考える！  
理想の働き方とは？



# 1. アンケートから考える！ 理想の働き方とは？

## アンケート 概要

調査期間：2020年3月28日～4月6日

調査方法：インターネット調査

対象：発達科学コミュニケーショントレーナーまたはリサーチャー、  
受講生、メルマガ会員、パステル総研・SNS読者 計385名

## 働き方の新常識

### コロナ休校から考える、発達凹凸のママの働き方の 新常識とは？

「コロナ一斉休校に関するアンケート」を分析して発達凸凹ワー  
ママの不満について解説します。385人のアンケートに答えてく  
ださったママのリアルな声には、コロナの状況を好転させる解決  
へのヒントがありました。

#### 【目次】

1. 発達凸凹ママの働き方や生き方が子育てを左右する！
2. コロナ休校中の働くママの現状とは？
3. 今の働き方への満足度は？
4. 発達凸凹のママの働き方の新常識はコレ！

## 1. 発達凸凹ママの働き方や生き方が子育てを左右する！

ここ最近の私は、いつもより仕事に没頭しています。通勤がない生活は本当に気楽で、研究者時代のように毎日の睡眠時間は3～4時間！

それでも研究者時代と決定的に違うのは、**自分がやりたいことに没頭できる自由な時間を手に入れている**ということです。

今回パステル総研で行った、「コロナー斉休校に関するアンケート」でも、ママたちが働き方や子育てに不満をたくさん持っていることが判明しました！



このアンケートで、みなさんの悩みの解決となるヒントを手にして欲しいと思います。

お母さんに影響を受けない子どもなんていません。ママの働き方や生き方が、子育てを左右しているかもしれない。

今、このコロナの状況でそういうことを考えているママがたくさんおられることが分かったので、**これからの生き方を考えるヒント**にして頂ければと思っています！

## 2. コロナ休校中の働くママの現状とは？

さて、アンケートの分析では、  
ママたちを3つのグループに分けてみました。



### 第1グループ

：専業主婦や育休中のママなどの**主婦グループ**



### 第2グループ

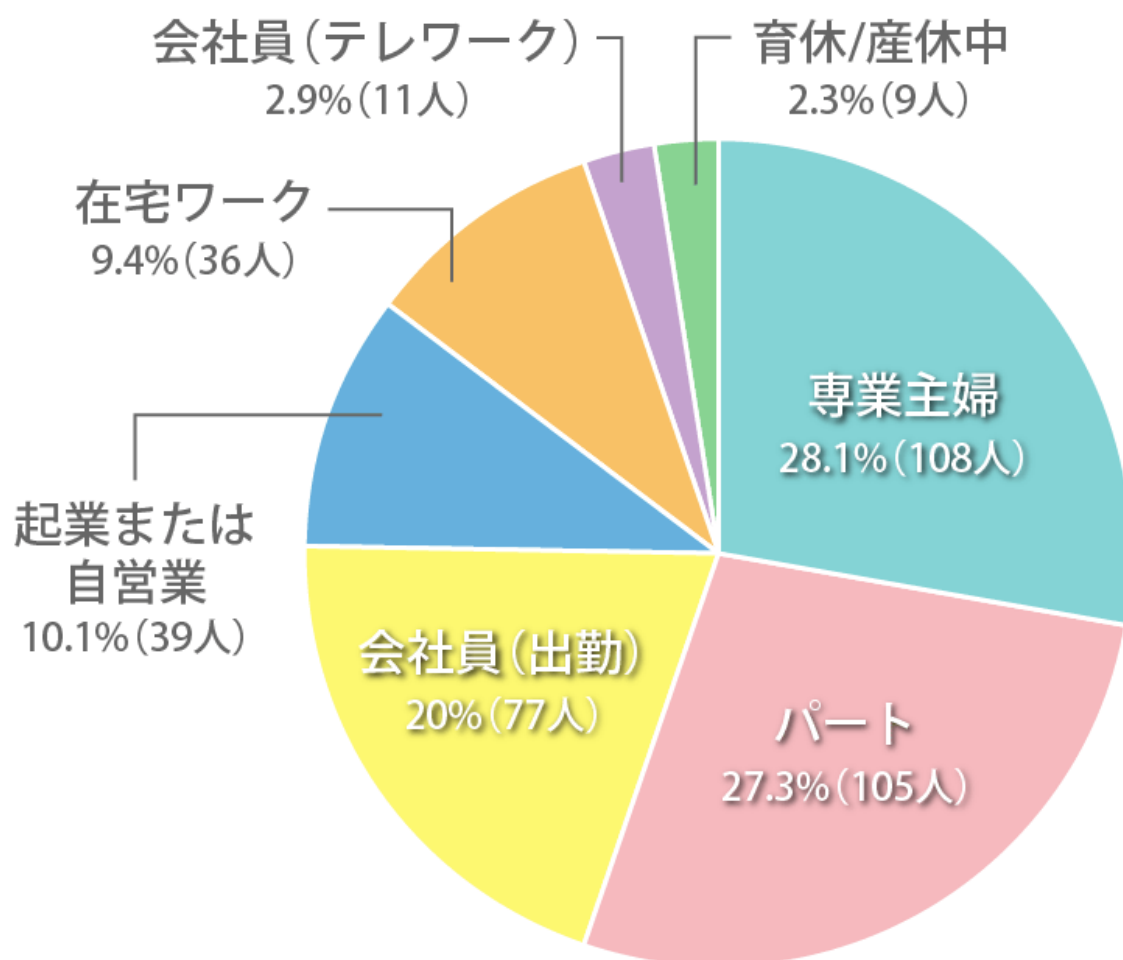
：会社員やパートタイマーなどの  
出勤をして働いている**出勤グループ**



### 第3グループ

：テレワーク・起業家・フリーランスなどの  
**在宅ワークグループ**

まずは、現在この1～3グループが  
どのくらいの割合で存在するのか？見てみましょう。



今回アンケートに答えて下さった385人中、

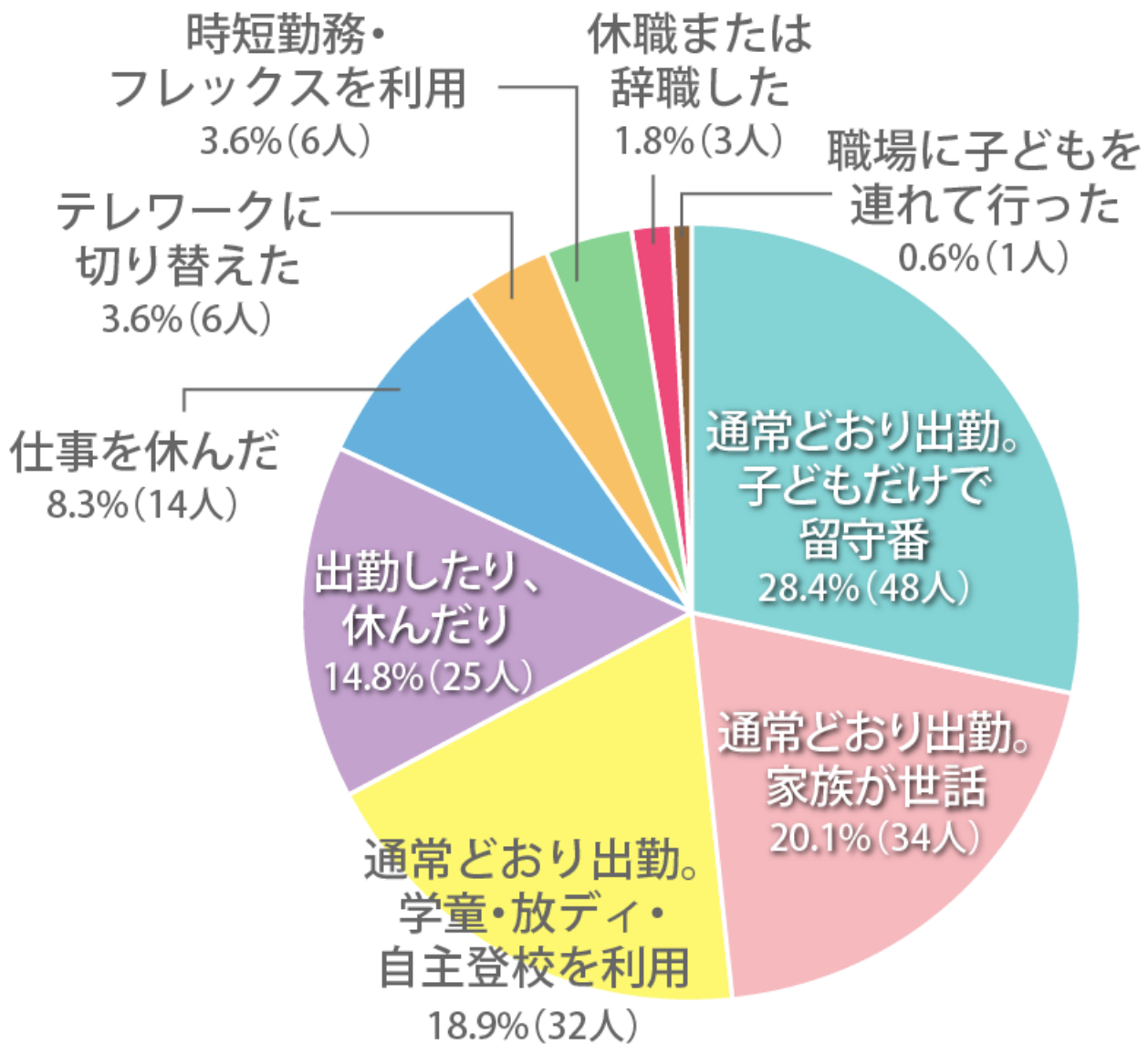
主婦グループは117人 (30%)

出勤グループは182人 (47%)

在宅ワークグループは86人 (22%)

でした。ある平成25年の調査によると在宅ワーカーは1.6%なので、発達凸凹ママたちの在宅ワーク率は、案外高いのかもしれませんが。

主に第2グループの出勤して働いているママたちに注目してみましょう。職場へ出かけるママたちは、3月のコロナ休校をどうやって過ごしたのでしょうか？



いつも通り出勤した人が、67%、  
出勤と休みを調整した人は、15%、  
仕事を休んだり、休職や辞職をしたりして対応した人が、10%

幼稚園や保育園に通常通り預けることのできたママを考慮したとしても、いつも通りの出勤をしなければならなかった人が多かったことが分かります。

その中でも1番多かったのは、子どもだけで留守番をさせたママたち。第2グループの約3割のママが、子どもだけ家に残して出勤していました。

報道などで注目されていたテレワークやリモートワークに切り替わった人は、今回の調査ではたった3.6%でした。（ただしこのアンケートは4/6で締め切ったので、4/7以降は変わっていると思います。）



つまり、多くのママたちが、コロナ休校の間「仕事を休みたいのに、休めない…」こんな思いをしていることが分かりました。

もちろん、逆の悩みもありました。「仕事に行きたかったのに、子どもがいて仕事ができなかった」私は、このママの気持ちもよく分かります。

また、別のママの意見では、「仕事は休めたけれど、子どもと24時間一緒にいると、育児ストレスが溜まってしまった」そんな声も聞かれました。

### 3. 今の働き方への満足度は？

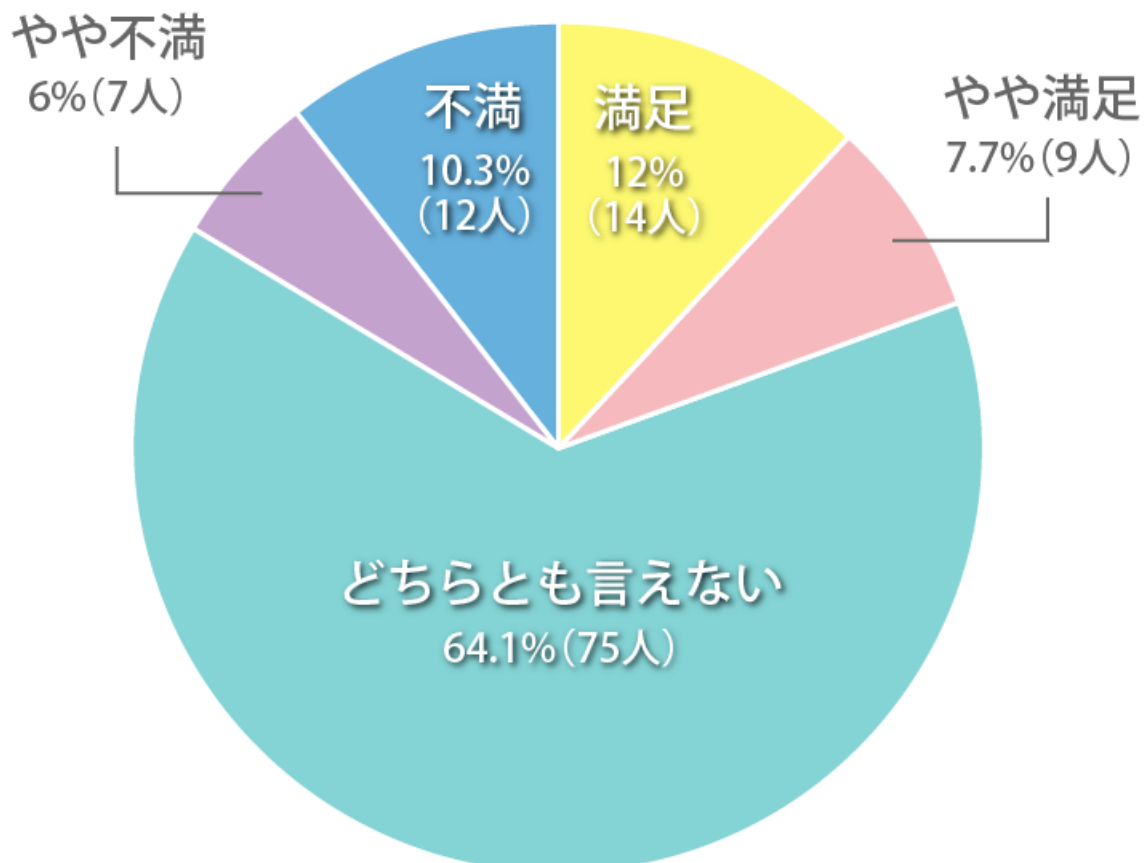
次に3つのグループの満足度についてお話しします。

コロナ休校を経験して、この3つのグループの働き方への満足度って、どうなっていると思いますか？

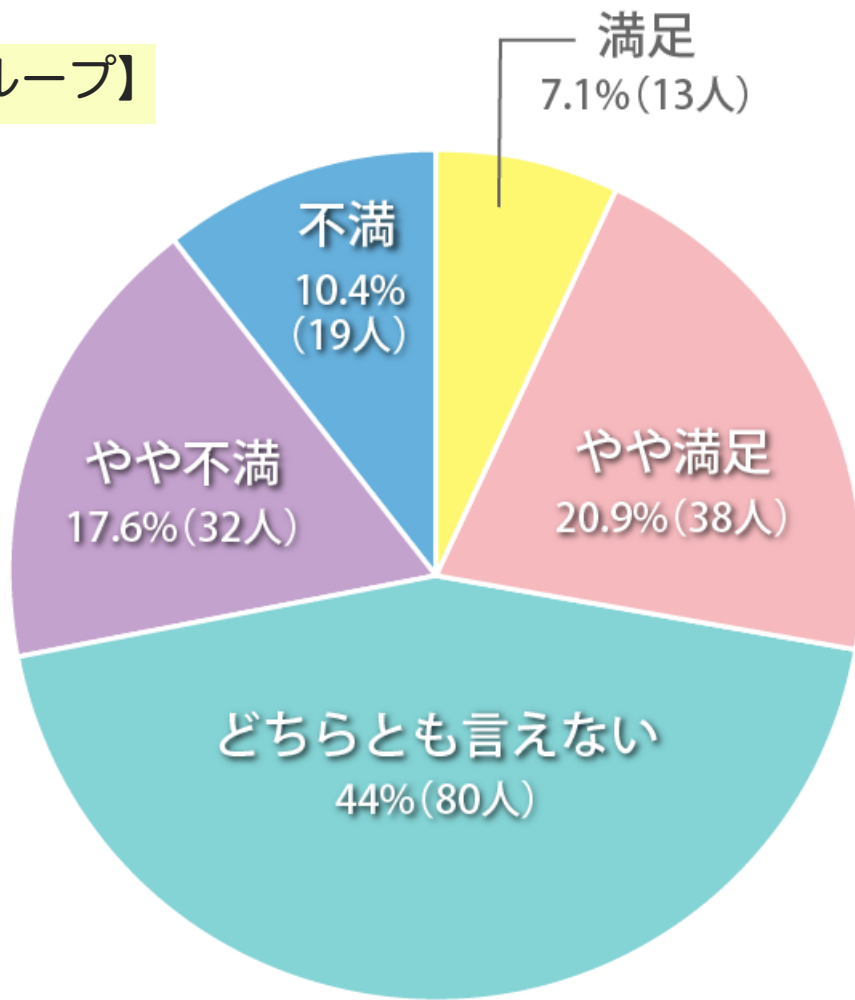
出勤グループの辛い声を書いたので、出勤している人の満足度が1番低いと思うかもしれませんが、しかし、実は違ったんです！

3つのグループの満足度はこうでした。

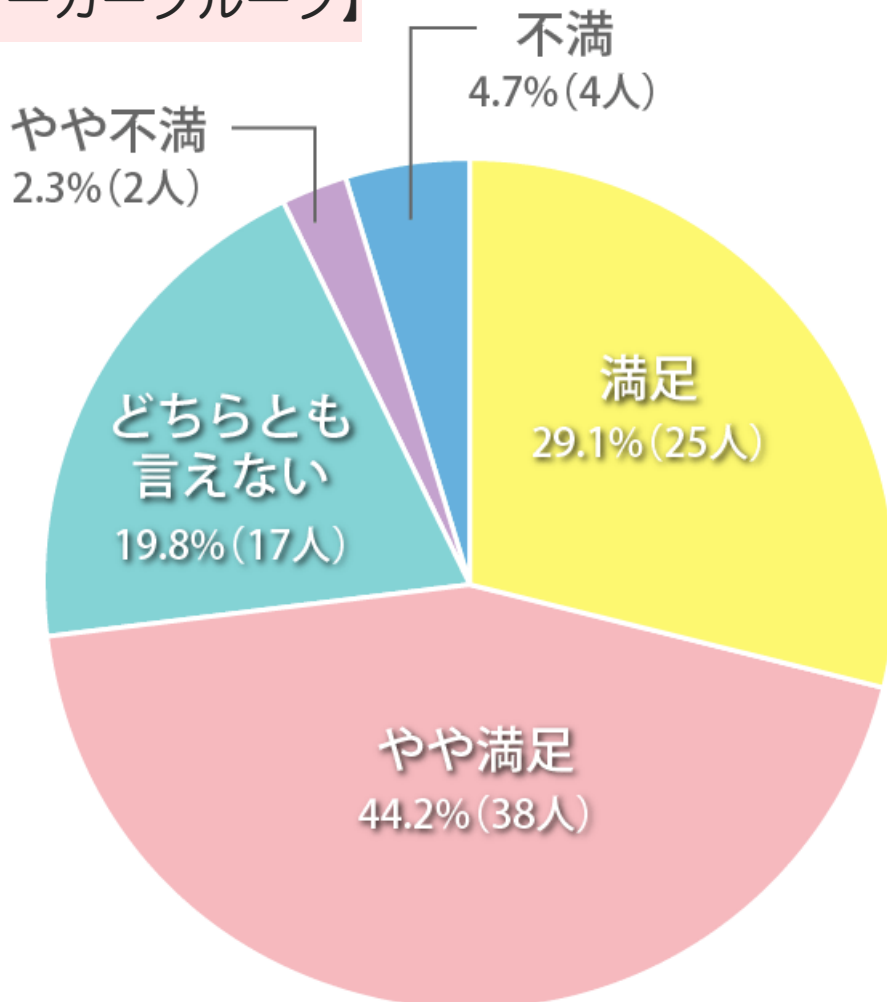
#### 【主婦グループ】



【出勤グループ】



【在宅ワーカーグループ】



①仕事をしていない主婦グループ・・・・・・・・・・20%

②出勤して働く出勤グループ・・・・・・・・・・28%

③家で働く在宅ワーカーグループ・・・・・・・・・・73%

これは各グループで「満足・やや満足」と答えた人の割合です。  
私もちょっと驚いたのですが、**今お仕事をしていないママたちが1番現状に満足していない**のです！

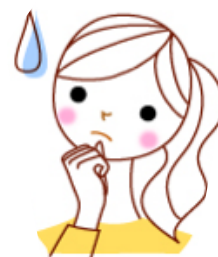
今お仕事をしていないママたちの不満の理由はこうでした。

“24時間、子どもと一緒に息抜きができない”

“子どもの預け先がなくて働けない”

“子育て中心のスタイルのまま働けるか不安”

“子どもが母子分離不安で離れられない”



発達凸凹キッズを育てていると、育児ストレスにさらされる、働いてみたいけど子育てがおろそかになるのは困る…。

だから、融通のきく働き方を探さなきゃいけないけど、そんな都合のいい働き方ってあるのかな・・・そんな風に考える人が多いのかもしれませんが。

満足度が1番低い主婦グループが感じているように、満足度が2番目に低い出勤グループの悩みは、仕事の自由がきかないこと。


主婦グループと出勤グループが共通して感じていることは、**子育てと仕事の両立という課題**なのです。

#### 4. 発達凸凹のママの働き方の新常識はコレ！

発達凸凹の子育てをしていると、仕事だけ上手くいっていても、ダメ。子育てだけ上手くいっていても、ダメ。**子育ても仕事も両方うまく行かないと、ママの負担は大きくなる。**

今回のコロナの一件で、発達凸凹ママが抱える悩みが一気に溢れたと言っても過言ではないかもしれません。

政府がお金を配ろうと、会社がテレワーク制度を整えようと、何も解決にはなりません。政府は政府で、会社は会社で、それぞれの持ち場で踏ん張っています。

ならば、**私たち一人ひとりも自分の持ち場で踏ん張る！**  
だからこそ、私もフル回転で今までになく仕事に没頭しています。

ストレスを抱える今を気合いで乗り越えるのではなく、  
データを見て問題解決策を探るのが発達科学ラボのやり方！

385人ものママの生の声には、  
**今の状況を好転させる解決へのヒント**がありました。

今までなら、多少自分にストレスがかかっても、会社に属していれば安心という世の中だったかもしれません。

ですが、今回のコロナ騒動で**会社に属していても何も安心ではない**という現実気づいて、これからの未来どうしよう、と考えられた方も多いのではないのでしょうか？

発達凸凹キッズのママに必要なのは気合ではありません！

これからは、**子育ても仕事も両方うまくいく方法で、  
子どもの成長にプラスになるママの生き方・働き方**  
を考えてみてほしいと思います。



## 絶対に必要な条件

発達凸凹キッズを抱えるママに聞きました！これからの働き方に必要な絶対ルールとは？

コロナウイルス感染防止の観点から、働き方にも変化が求められています。発達凸凹キッズを抱えるママも家族と自分の幸せのため、ライフスタイルを見直すときなのかもしれません。今回はアンケート結果から、これからの理想の働き方を提案します。

### 【目次】

1. これからの働き方について考えてみませんか？
2. 満足度の高いママの働き方とは？
3. 在宅ワークのもたらすメリットはコレ！
4. 知っておきたい在宅ワークのデメリット
5. 発達凸凹のママが子育ても自分の人生もあきらめない働き方

## 1. これからの働き方について考えてみませんか？

新型コロナウイルスによる臨時休校で、お母さんも子どもも疲れやストレスが溜まっていると思います。こんな今だからこそ、ママは自分のことを後回しにしないで欲しい、と私は思います。

お母さんに影響されない子どもはいない。  
だからママは子育てを考えるのと同じくらい、  
**自分の人生のことも考えて欲しい！**

発達凸凹（パステル）の子どもを抱えているママだからこそ、  
**将来に備えた働き方**をして欲しい！

そこで今回は、パステル総研で行ったアンケートをもとに、  
これからのママの働き方について考えていきたいと思います。

check!

## 2. 満足度の高いママの働き方とは？

今回のアンケートでは、ママのグループを3つに分けて調査をしました。アンケートに答えてくださった3つのグループの働き方への満足度はこうでした。

- ①専業主婦や育休中のママなどの**主婦グループ**：20%
- ②会社員やパートタイマーなどの  
出勤して働いている**出勤グループ**：28%
- ③テレワーク中の人、起業家・フリーランスなど  
家で仕事をしている**在宅ワーカーグループ**：73%

ひと目で分かるように、

**桁違いの満足度を示したのが在宅ワーカーのグループ**です。

家にいながら仕事ができる。

私自身も在宅ワーカーですし、在宅での起業をプロデュースしてきて、在宅ワークや在宅起業は、本当に**ママ向き**だと思います。



今はコロナ休校という状況に右往左往しないで済む、というメリットもありますが、コロナと切り離して考えても、**発達凸凹キッズの子育てに在宅ワークは有利**なんです！

例えば、子どもが急に学校に行きたくないと言い出しても、**出勤時間に慌てる必要はありません。**

学校や園から電話がかかってきても、**上司に謝って早退する必要はありません。**



不登校気味になっても、風邪を引いて休んでも、学校の帰りが早い日も、**ママが家にいられるメリットはとても大きいのです。**

では、実際に在宅ワークの経験がある125名が答えてくれた、在宅ワークの実際のところをレポートしたいと思います！

### 3. 在宅ワークがもたらすメリットはコレ！

まず、在宅ワークではメリットとデメリット、どちらが多かったのか？

調べてみると、**61%の回答がメリット**、**39%の回答がデメリット**を示していました。

そのメリットのリアルな声を見てみましょう。

	人数(人)	割合(%)
通勤時間が省けるのがいい	73	58.4
働く時間を選べるのがいい	72	57.6
場所を問わず仕事ができるのがいい	57	45.6
見た目を気にしなくていい	27	21.6
家族と過ごす時間が増えた	14	11.2
生産性が上がった	1	0.8
空き時間を自分の勉強の時間にできた	1	0.8
合計	のべ245	—

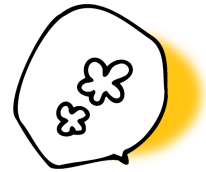
割合：回答者総数に占める、回答率

まず1番回答が多かったのが、**通勤時間が省けるのがいい！**という結果。



ただでさえ忙しいママですから、通勤時間が省けるだけで、家事をする時間や用事を済ませる時間が手に入るメリットは大きいと思います。

2位以下の回答についても、  
私自身、全く同じメリットを感じています。



つまり、今のみなさんの働き方の不満や不便が1位～7位の回答で解決できる悩みなら、**在宅ワークに切り替えることが有効に働く**ということです！

ところが在宅ワークにも種類があるので、  
在宅ワークなら何でもいいというのは間違いです！

在宅ワークには、**デメリット**もあるからです。

特に、今回のコロナの一件で急に在宅ワークを始めた企業は  
実はあまり成果を出せていないという声もあります。

ではどんな在宅ワークなら、  
発達凸凹キッズの子育てに有利なのでしょうか？

## 4. 知っておきたい在宅ワークのデメリット

続いて**在宅ワークのデメリット**について解説します。  
アンケートによるとママたちの感じるデメリットとは

	人数(人)	割合(%)
家族がいて集中できない	60	48
仕事とプライベートの線引きが難しい	43	34.4
だらけてしまう	23	18.4
孤独を感じる	10	8
家事の負担が増えた	8	6.4
セキュリティリスクがある	5	4
インターネット環境が悪い	5	4
時間に対して割りに合わない	1	0.8
スマホに縛られる感覚がある	1	0.8
業務効率がよくなかった	1	0.8
合計	のべ157	—

割合:回答者総数に占める、回答率

という結果でした。

第1位から第5位までを並べてみましたが、どれも同じようなことを表しているように見えるのは私だけでしょうか？

要するに「家にいると仕事がしにくい…」と感じている人がいるんです。

実際に、このコロナ騒動で急にテレワークを取り入れ始めた会社は、家にいて仕事をしない社員に頭を抱えていたり、解雇対象になっていますよね。

要は**在宅ワークにもやり方がある**のです。



## 5. 発達凸凹のママが子育ても自分の人生もあきらめない働き方

発達科学コミュニケーションは時代の先を見て、もう3年前からオンラインの発達支援を実現してきました。

発達凸凹の子育てを学びながら、**ママが在宅で起業やパート感覚のお仕事もできる**ように整えるまでには、多くの試行錯誤のプロセスがあったからこそ！

ママが家で仕事をしているからと言って、「今ママは仕事してるんだから黙ってて！」なんて怒り出すような仕事をしていたら、本末転倒ですよ？

こういう本末転倒なのは当たり前ですが、発コミュでは禁止です。  
**子育てをおろそかにしてはいけないルールと技術**があります。

それに加えて起業まで考えている人には、  
家の中に**お仕事専用スペース**を創ってもらいます。  
誘惑に負ける人には**自分が働きやすい時間割**をつくって頂きます。

もちろん、タスク管理や目標達成の方法まで！



その他にも、たくさんのママのおかげで、在宅だからこそ生じる  
問題を解決できるノウハウが、発コミュには蓄積されています。

要は**自立してシゴトする！** ✨

これができるか、できないか？の差だけ。  
だからこそ、在宅ワークなら何でもいいという訳にはいきません。

在宅ワークには大きく2種類。

雇われながら在宅で働く方法と、雇われずに在宅で働く方法  
があります。

インターネット環境がどうの…というお話なら物理的に解決できることですが、在宅ワークをしようかな！と思っている人にとって大事ななのは、**自立して仕事したいかどうか？**なんです。

在宅ワークは、

- ・ 仕事を指示してほしい
- ・ 何をするか決めてほしい
- ・ どこまでやればOKか判断してほしい



という人には不向きか、もしくは、新しい仕事のスタンスを習得するチャンス！だと捉える意識が必要です。

逆に、

- ・ 会社や上司に細かく管理されたくない
- ・ 自分で考えて働きたい
- ・ もっと自由にやらせろ～！



という人には天国のような働き方です。しかも、発コミュは**子どもを伸ばす方法を学びながら在宅ワークができる♪**

我ながら、最高の仕事だと思っています。

(勝手に思っているだけです、許してください)

ある大企業でも、従業員10万人以上に対する給与支払いを停止することが明るみになりました。

大企業だから安心、雇われているから安心、なんて時代は、もう本当に終わってしまったんだと思うようなニュースでした。

雇われていても安心ではない。

子どもの発達と切り離せない、

ママの人生を考え直すヒントになれば嬉しいです。



## 理想の働き方No.1とは？

今こそ、発達凸凹キッズのママの生き方や働き方を見直すチャンス！

コロナ騒動を経験した今だからこそ、発達凸凹キッズのママにとってこれからの生き方や働き方を見直し、新しいことを始めるチャンスなのです。今回は自分と子どもを守るためにどう生きればいいのか？どう働けばいいのか？のヒントをお伝えします。

### 【目次】

1. 発達凸凹キッズのママが気になる働き方No.1は？
2. ママは発達凸凹キッズが憧れる未来を魅せていますか？
3. 今こそ、発達凸凹キッズのために「未来を話そう！」

### 1. 発達凸凹キッズのママが気になる働き方No.1は？

パステル総研では、アンケートを実施してママの働き方への満足度を調査したところ、

発達凸凹ママのアンケートから5人に1人程度しか満足感を得ていない専業主婦や、出勤する働き方に比べて、在宅ワークで働いている人は73%が満足しているという結果が出ました。

在宅ワークの不満や悩みも、実はとてもシンプルで、家という誘惑の多い環境で、集中して仕事をするスキルさえあればほとんどが解決するものでしたね。

緊急事態宣言が解除されるなど、だんだんと日常は戻ってきていますが、新型コロナのワクチンの製造には臨床試験を終えるまでには1年半～2年かかると言われています。

つまり、あと1年半以上安心できない状況が続く中で、

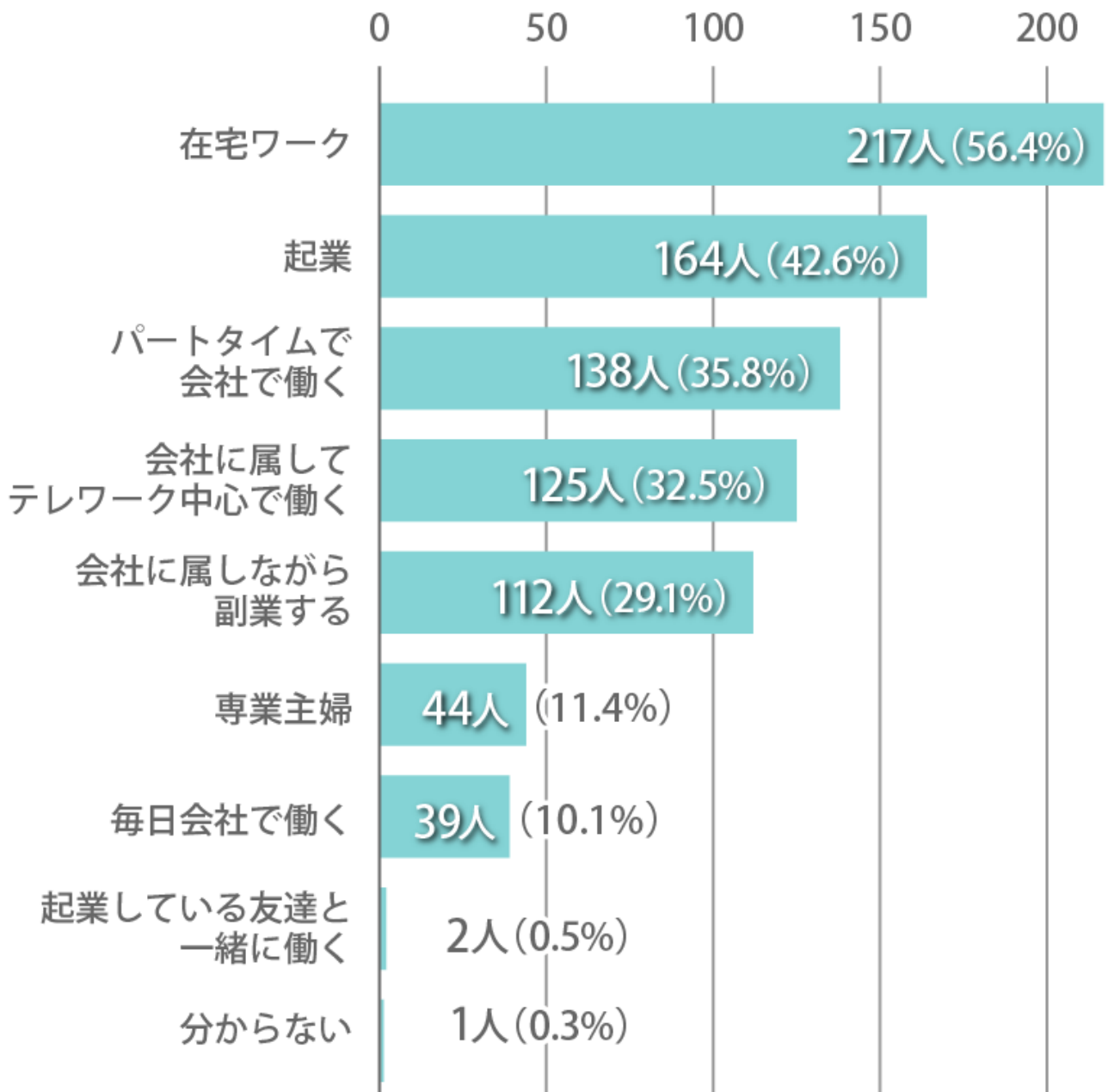
**自分と子どもを守るためにどう生きればいいのか？**

**どう働けばいいのか？**

という問題が突きつけられているのです。



そんな中、新しい仕事を始めるならどんなスタイルで仕事をしたいか？を問うアンケートでは今の時勢をよく表した結果になりました。



割合：回答者総数に占める、回答率

2位の起業には、色々なスタイルがありますが、1位、2位、4位、もしかしたら5位の副業も、**家でシゴトしたい!!**という情熱が込められているのかもしれませんが。

**こんなにも在宅ワークや起業をしたいママが多いんですね。**

予想を超える結果に、少し驚きつつも、本当にその通りだなと大共感しました。収入源を2つ以上持つことで会社に左右されない人生になるので、副業というスタイルも働くママには強い味方になります！

とはいえ、子育てがおろそかになってはいけないので、在宅ワークなら何でもいいという訳にも行きません。当然リスクを考える人もいるでしょう。

ならば、**どんな仕事を選べば未来が広がり、リスクを最小限にできるのか？**



働き方を考える際には、もちろん子育てとの両立を考慮すると思いますが、実は、それ以外にも必ず抑えてほしいポイントがあります。

## 2. ママは発達凸凹キッズが憧れる未来を魅せていますか？

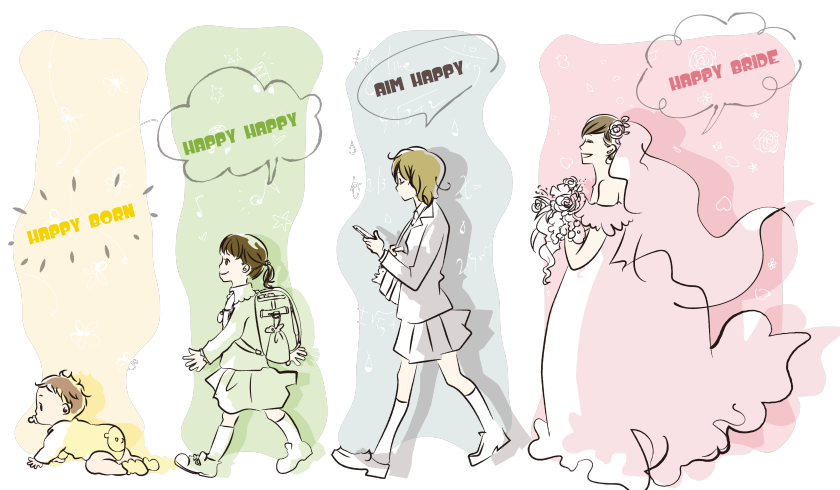
実は今まで8ヶ月間、あるテーマについてずっと研究を積み重ねて来ました。そのテーマの着想は、**子どもの未来の創り方**からスタートして、人の夢、人の生き方、人生の在り方や生き様にまで派生して来ました。

その根幹にあるのは、**私たちは子どもの頃に夢見た人生を大人になった今、生きているだろうか？**という問いです。

発達障害やグレーゾーンの仕事をする上で、この問題を無視することはできません。私たち「大人」は、**子どもが憧れる未来そのもの**であるはずですよ。

発達凸凹（パステル）の子たちに、**「素敵な未来が待っているよ！」** そう胸を張って言える、本当に魅力的な「未来」をどうやって創り出すのか？

その答えを知らずして、  
「発達障害でも未来はあるよ」  
なんてコトは言えない。  
そんな気がしたからです。



私たちは、日々目の前の問題に追われていて、頭の中は**目先の利益や目の前の問題解決**に心を奪われます。もちろん、それは必要なコト。ですが、それだけでは未来は創り出せません。

今も、この先もずっと目の前の問題を解決するだけの歯車の中を走るような人生になってしまうからです。大人がそんな生き方をしていたら、当然、それを間近で見ていた子どもはその人生観を学びます。

だから現状の問題も解決しつつ、**未来が広がる生き方**を大人は常に模索して子どもに魅せてあげて欲しいんです。

### 3. 今こそ、発達凸凹キッズのために「未来を話そう！」

期せずして、新型コロナ感染の大流行で、世界中の人が生き方を見直すチャンスを得ました。そのチャンスを掴む人とつかみ損ねる人とのギャップが大きくなる、今はその分岐点にいます。

だからこそママが、今考えないといけないのは**子どもの発達の悩みを解決しながら、どうやって未来を創るのか？**というコト。

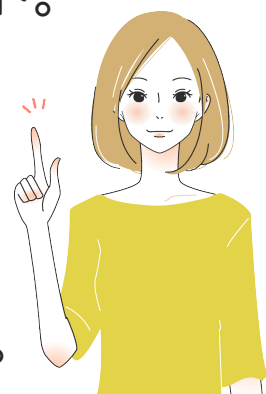


発達悩みを解決する方法は既に発コミュにあるわけです。  
ならば、今考えるのはその先。

新型コロナ感染は時間がかかっても必ず収束します。**そのときに、どうなっていたいか？その先に、どうなりたいか？**それを考えながら生き方や仕事を選び直して欲しいと、かなり切実に私はそう考えるようになりました。

解説して来たように、在宅ワークや起業への関心がとても高まっています。それは、とても健全な方向であると感じます。問題は、**在宅ワークや起業で何をするか？**というコト。

そこで必ず考えて欲しいのが  
**誰でも今すぐできるシゴト（＝タスク）**ではなく、  
**自分だからできるシゴト（＝価値）**を創ることです。



手っ取り早いからと言って、「作業やタスク」を仕事にすると当面の短期間は乗り切れますが、中長期的には未来を創ることが難しくなります。

だから、今から**価値を生み出す仕事を創る！**

社会が停滞している今、挑戦を始めるには最適の時間です。  
ぜひ、おうち時間を活用して未来の話をしましょう！

自分も子育てに役立つ話題を発信したい！

無料オンライン個別相談

読者特典90分

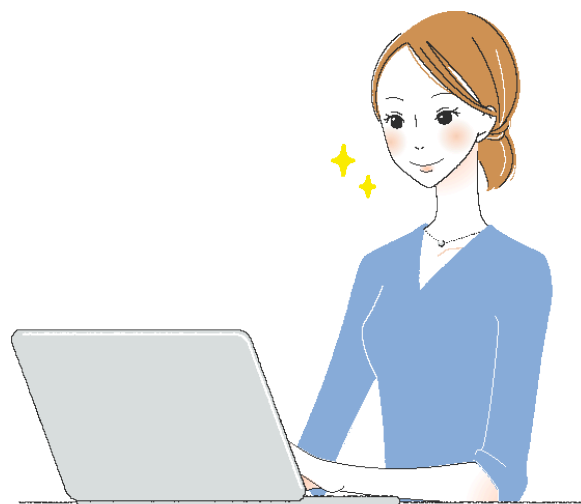


発達科学の専門家となって

自分にしかできない  
子育てと仕事を

スタートさせる個別相談会

おうちで  
夢を叶えるチカラを  
手にしたい方！



パソコン/スマホ/タブレットがあればお家から相談できます

▼お申し込みはこちらから▼

<https://yoshinokayoko.jimdofree.com/発達分野で働く/>

スマホでリンクにつながらない場合は、ダウンロードしてからクリックしてください



# 02



## 発コミュで起業した 15組の親子の成長ストーリー

発コミュで子育ての悩みを解決し、  
発達科学ラボでトレーナー・リサーチャーとして  
子育てと仕事を両立させることを決意した  
15組の親子のストーリーをご紹介します！

# トレーナー

怒鳴り合いの大げんかの日々から、  
スムーズなコミュニケーションに変化しました。  
お母さんが笑顔で子育てできるようサポートします！

親子のコミュニケーションをスムーズにして  
通常級でがんばる子の発達を加速する  
発達科学コミュニケーショントレーナー  
清水畑亜希子（しみずばた あきこ）です。



清水畑 亜希子

高校1年のグレーゾーン男子(ADHD、LD)と、  
定型発達の中1女子の2児の母親でもあります。

私は結婚後も出産後も会社員として働いていました。お仕事大好き母さんです。「子育てと仕事の両立って大変！！」と汗と涙を流しながらも全力疾走の日々でした。

ようやく息子が小学校に入りひと段落かと思いきや・・・

学校からの呼び出し電話は多く、お友達と遊んでいてもトラブル続き、私は仕事から帰るとあちこち謝罪して歩く日々でした。

「なんか、この子、育てにくい・・・」と漠然とした不安とストレスを感じて過ごしていました。

お勉強はちょっと苦手で、時々大きなトラブルを勃発させるものの、基本的に学校もお友達も大好きな息子。スクールカウンセラーとも定期的に面談をしながら、様子を見ること数年…。このまま、ちょっと変わった子として、小学校を卒業していくのかな、とっていました。

しかし、中学進学が近づく小学校5年の後半、  
スクールカウンセラーの先生から衝撃のお言葉が。

「このままでは中学校生活に問題がでるかもしれません」と!!!!

突然の宣告に慌てふためき、私は、スクールカウンセラー、地域の発達支援センター、発達外来を訪ねては相談を重ねました。そして長い時間待ち続けてやっと受けることができた

「WISC検査」の結果、「グレーゾーン」であることを告げられました。

しかし、具体的な対応策も伝えられないまま、息子は小学校卒業の日を迎え、そして地元の公立中学の通常級に進学することになりました。

ここで私は一念発起！

当時勤めていた大好きだった

会社を辞め、職場を変える決断をしたのです。



仕事で忙しく、残業も休日出勤もガッツリしていました。息子に十分な時間をかけてあげられなかったことに負い目を感じていた私は、「**時間を作る**」という方法で息子のサポートをすることを選択しました。

これで子どものサポートが思う存分できるぞ、と思った私は張り切りました。

なんとか学校の勉強についていけるようにしなければ、と毎日「**勉強しなさい**」と猛烈指導。「**できないこと**」に注目し、**できないことを克服するための勉強を指導**しました。

しかし、ことはそれほど簡単にいきません。

中学入学後初めての三者面談では、いきなり

「**このままでは行く高校はありません!**」

と担任の先生からの先制パンチ!



発達の特徴がある息子は、


学校でも「**やる気のない生徒**」と評価されていたのです。

小学生のころは、勉強ができなくても、いつもニコニコ楽しそうなかわいい子、として認めてもらっていた部分もありました。

しかし中学に入るとそうもいきません。大人になるための心構えを習得させるために、自主性を求める風潮が急に強まります。

高校進学のための「評価」もスタートします。生活態度も学習態度も成績も、どれも厳しく見られるようになっていきます。

その「評価基準」からはみ出ている我が子を見て、私はますます焦ったのです。

さらに中学に入ってから持たせたスマホをめぐって、毎日怒鳴り合いの大ゲンカが繰り広げられるようになり、「スマホやめなさい！」「勉強しなさい！」「ダラダラするんじゃない！」「忘れ物するんじゃない！」ひたすらガミガミ言い続ける生活が続きました。

そうなると思春期男子も黙ってはいません！体力で私を上回るようになった息子は、時折暴れて家を壊す始末。息子の3歳年下の娘も、家庭内で怯えて過ごす日々が続きました。

仕事を変えてまで「この子のために」と思ったのに、うまくいかないのは何故だろう？

暴れる息子が寝静まった深夜、涙に暮れながらスマホでネットサーフィンをしているとき、偶然にも「発達科学コミュニケーション」のブログにたどり着いたのです。私は藁にもすがる思いで、個別相談に申し込みをしました。

個別相談に行き、それまで**自分がとってきた行動が、どうしてグレーゾーンの息子にとってプラスにならなかったのか**を知ることになったのです！

「できないこと」に注目して  
ガミガミ言い続けるのがなぜダメなのか？

ダラダラしているように見えるのは、  
息子のやる気の問題なのか？

勉強ができないのは、努力が足りないから？



その答えが発達科学コミュニケーションにはありました。

世の中に出回っている、子育てハウツー情報とは一線を画し、発達障害・グレーゾーンを**脳科学の観点から紐解いたコミュニケーション理論**には、納得のポイントがたくさんありました。

いつも感情的だった私も、「まあいいか」と思えることが増え、**息子なりに頑張っていることに注目できるようになりました。**

それは、脳科学に基づいたさまざまな「理由」がわかっているからです。

これまで、息子の扱いに困り果てて、何か言えば**大ゲンカ**に発展していたのが、発達科学コミュニケーションに取り組み始めてから、**コミュニケーションがスムーズ**になり、息子も**勉強に取り組んだり家の手伝いをしてくれる**ようになりました。

もし私が発達科学コミュニケーションに出会っていなかったら、ストレスを抱えたままの子育てがずっと続き、息子との関係性は悪化の一途をたどっていたと思います。

どこに相談しようとしても、  
数か月単位で待たないといけない。  
待ったとしても期待した対応を  
してもらえらるとは限りません。



今困っている「この瞬間」「この問題」を解決できるのは、  
実は**毎日一緒にいて子どものことを理解しているお母さん**で  
あることを痛感しました。

- 「どうしたらいいかわからない」
- 「自分のせいだ」と罪悪感を感じている
- どこに、誰に、相談していいのかわからない

そんな辛い子育てに悩むお母さんたちをサポートするために、  
私は発達科学コミュニケーショントレーナーになることを決め  
ました。

**時間に追われるワーママでもコツさえわかれば実践できる！**

脳科学に基づいた、発達グレーくんをやる気にさせるコミュニ  
ケーション方法で、子どもの将来を想うお母さんたちが、  
笑顔で子育てできるよう応援していきます。



たった2週間で、振り回されていた癩癩が静まりました。  
お母さんの強力なサポーターとして、苦勞を理解し、  
味方になれる存在でありたいと思っています！

ママの一言で幼児のぐずりをピタッと止めて  
発達をグーンと加速する！

発達科学コミュニケーショントレーナー  
石澤かずこです。



石澤 かずこ

幼児期の発達凸凹の「育てづらさ」を  
お母さんのコミュニケーションで脳自体の発達を加速させ、  
その子の強みに変えていく専門家です。

ママが発達科学を学び、  
自分の経験を同じように悩むママに  
寄り添う「仕事」に変えるための  
プロデュース・人材育成事業を手がけています。

臨床心理士歴10年。小学校教諭・特別支援学校教諭の資格や知識を活かしながら、教育委員会の巡回相談員やスクールカウンセラー、療育スタッフとして発達障害の子どもたちと関わる仕事をしてきました。

その後、2人の子どもを授かります。

可愛い我が子の成長を切に願いつつ、  
なかなか理想通りにいかない子育てに悪戦苦闘の日々。

次女が2歳を過ぎた頃から始まった、**ひどい癇癩**や、  
**幼稚園への行きしぶり**に疲弊する毎日を送る中で、  
発達科学コミュニケーションと出会います。



自分の育て方が悪いのではない！  
理由は脳の発達にあったのか！



**目からウロコの「常識」と科学に基づいた具体的なテクニック**  
で、発コミュに取り組むことたった2週間！

あんなに振り回されていた次女の**癇癩が嘘のように静まります**。  
今も時折、癇癩は起こしますが、**対応の軸を持てたから、自信**  
**を持って子育てできる！**

今度は、この経験と、心理学・教育学、そして脳科学といった  
自分の専門性を活かし、ママの子育ての自信と笑顔を取り戻す  
サポートをします^^ もう、一人で悩まないで。

発達が気になるお子さんをもつお母さんの強力なサポーターと  
して、お母さんの苦勞を理解し、味方になれる存在でありたい  
と思っています！

不安がいっぱいだった苦しい子育てから解放されました！  
同じように悩むママの気持ちに寄り添い、  
一緒に成長していきたいです！

集団が苦手な子どもの  
コミュニケーション力を伸ばす！  
発達科学コミュニケーショントレーナー  
今村裕香です。



今村 裕香

私の息子は、のんびり・マイペースな男の子です。  
いつもみんなよりペースは遅いし、何をするのも不器用。

そんな息子を見て、「〇〇しなさい！」「今はお風呂の時間だよ！早くして」「〇〇は終わったの？」「なんで、さっき言ったことができないの？」と怖い顔で指示ばかり出してきました。

私は良かれと思って、子どもが知らないことをしっかり教えていかなければ…とっていました。躰として、子どもに対応していました。しかし、この良かれと思ってやってきた対応が全て間違っていたのです。

その結果、もともと不安が強い特性があり、基本的に**ネガティブ思考**が強い息子は**自信を失っていき、自分で動こうとしなくなりました。**

「いや。僕できないし…」

「ぼく、学校いやだ。行きたくない」と言い、  
初めてのことにチャレンジしなくなっていました。



私自身が子どもの将来に不安になり、その不安が子どもへと伝わっていました。そして、**子どもが私の不安まで背負っている。**ということを目の当たりにしたのです！

こんな私は変わりたい！変わらなくてはいけない！と思い、必死でネット検索をして見つけたのが、発達科学コミュニケーションでした。

最初は子育てを相談していいものか迷いました。何か言われるんではないだろうか？という不安。子育てくらいみんなやってるんだからがんばらなくちゃ！という気持ちがありました。

しかし、子どもとの関係はこのままではいけない。子どもの将来を心配しすぎるあまり、子どもを潰してしまうのではないかと…不安でいっぱいになり、私は勇気を持って個別相談を申し込みました。

勇気を持って相談に行くと、悩みを聞いてくれ、子どものよいところを認めてくれたり、見つけてくれたりと、子育てに不安だった気持ちを、フワッと和らげてくれたのです。



わたしが個別相談で言われた言葉は、

**「よくぞここまで、がんばってこられましたね！」**でした。

この言葉に救われたのを今でも覚えています。

私は発達科学コミュニケーションに出会い、  
自分を変えることができました。

なぜ変わったのか？

それは「心を変えろ！」とか「答えは自分の中にある！」とかではなく、子育てするときのテクニックを教えてくれ、子育ての軸を持つことができたからです！

子育てに苦労しているママは、もうすでにがんばっているのです。  
子どもにも愛情はたっぷりあるのです。

あとは、少しラクになるテクニックを身につけたり、自分の子育ての軸をしっかり持つことだけなのだ気づきました。

発コミュを学んだ今では、子どもの特性や対応法が分かっているので、どうコミュニケーションをとるのがいいのか？子どもの将来のためにどう対応するのか？と、将来に向けて考えられるようになり、苦しい子育てから解放されています！



子どもの脳の成長発達の違いが生まれるのは、

『生まれ持った能力の違い』だけではなく、

**お母さんが子どもの脳に届く・脳が成長発達するための  
コミュニケーション術を“まだ知らないだけ”**

ということに気づきました。

これからは、トレーナーとして、私と同じように悩んでいるお母さんに、お子さんに合った子育ての方法を、理由・根拠と共に伝えたいと思っています。

同じように悩んだ経験があるからこそ、悩んでいるママの気持ちに寄り添い、一緒に成長していきたいと思っています。



学校からの電話に怯える日々。荒れまくっていた息子が  
たった3週間で落ち着きました！強みを活かした個性派  
イケてる男子に育てたいママを応援します！

元気いっぱい！

個性的なADHDグレー男子を

怒らず育てるママになる！

発達科学コミュニケーショントレーナーの

水本しおりです。



水本 しおり

私は、10才のADHDグレー男子と、

定型発達の6才男子の2児の母親でもあります。

私は長男を妊娠するまで外科病棟で看護師として働き、

出産をきっかけに専業主婦になりました。

長男の妊娠を知った時にはとても嬉しくて、胎動を感じた時には

愛しくてたまらなくなり、生まれてからは本当に可愛くて可愛

くて仕方ありませんでした。

そんな長男を育てていると、少し「ん？なんか落ち着きないかな？」

と思うこともありましたが、個性的ではあるものの、持ち

ち前の人懐っこさと素直さで、幼稚園時代は周りに受け入れてもら

いながら、楽しく過ごしていました。

そんな長男が2年生の時、転校をきっかけに友達や先生から攻撃的な対応をとられてしまい、とっても素直だった息子が、

家で反抗したり、奇声をあげたり、別人のように荒れ、学校でも毎日問題行動を起こしてくるようになりました。

嫌なことは全部拒否！

宿題も一切やらず、学校でも嫌なことはしない！

という状態になってしまいました。



私はどうすれば良いのかわからず、なんとか抑えようと息子を毎日強く叱りましたが、息子の行動はどんどん悪化する一方でした。

そんなことをしているうちに、最後には授業に出られなくなり、

ついに、精神科への受診を勧められました。

結局、受診し検査したものの、診断も下りず、明日の息子を変える手立てもないまま。また、私は学校からの電話に怯える日々を送りました。

そんな時、とにかく今の状況をなんとかしたくて、必死に本やネットで色んなものを探し続け、行き着いたのが、発達科学コミュニケーションでした。藁をも掴む思いで、受講した発コミュで、私たち親子は救われました。

なぜ息子が変わってしまったのか、

なぜ私の関わり方で悪化していったのか、

じゃあ、どうすればいいのか、

ということがストンと腑に落ち、とても心が軽くなりました。



発コミュは脳科学をベースとしているので、**根拠がないと信じられない私でも納得できて、すぐに実践できました。**

実践してみると、**あんなに荒れていた息子が3週間で落ち着き、それから2週間後には学校からの電話も無くなりました。**

あの苦しんだ1年間はなんだったのか・・・。

発コミュに出会っていなかったら、  
今頃私達はどうなっていたのか・・・。

苦しかった間、寝ても覚めても息子のことを考え、学校に行っている間も電話を肌身離さず、電話が鳴るたびに、学校からではないかと怯える日々でした。

まるで、真っ暗闇のトンネルに入ってしまった、出口がわからないような、先が見えず希望が見出せない毎日。

本当に辛い毎日でした。そんな辛い日々から、私は発コミュによって脱却することが出来ました。

だから、私のような思いをしている人がいるのなら、発コミュを伝えることによって、助けることが出来ればと思い、今、私はトレーナーとして活動しています。

**発達障害やパステルゾーンのお子さんは、その子にあった対応をする事で、飛び抜けた才能を発揮することが少なくありません！**

**だったら、みんなと一緒にじゃないことを悩むより、みんなと一緒にじゃないことを伸ばして、その子の強みにしてあげませんか？**

ママの力で、AI時代を生き抜く個性派イケてる男子に育てる！  
本気でそう願うママを、全力でサポートします！



人付き合いが苦手で、子育てに自信をなくしていた私が  
自信を取り戻すことで、息子にも変化が！  
人付き合いを楽しみながら子育てできるママを増やします

親子のコミュニケーションをスムーズにして  
人付き合い苦手系ママが子どもの個性をみがく  
発達科学コミュニケーショントレーナーの  
渡辺みゆきです。



渡辺 みゆき

小学6年生の発達障害・グレーゾーン男子の  
母親でもあります。

私自身もアスペルガーの傾向があり、  
コミュニケーションに苦手意識を持っていました。

私は幼いころから人付き合いが苦手で、クラスでも浮いた存在で  
した。就職してからもコミュニケーションが苦手すぎて、仕事も  
長続きせず、10回以上転職を繰り返したほどです。

母親になっても人付き合いが苦手なことが克服できず、ママ友を  
作ることに消極的でした。

いっぽう息子は、小さなころからニコニコ笑顔で元気いっぱい！  
保育園では人懐っこくて初対面のお友達でもすぐに仲良くなれる。  
良い意味で私に似ない子でした。

小学校に入学した息子は、勉強が少し苦手、集団行動ではちょっとはみ出た行動をしていましたが、学校や学童で友達と遊ぶことは大好き！



ところが、学年が上がるごとに、元気いっぱいの人懐っこい部分が、衝動的に手が出てお友達にケガをさせたり、しつこく絡む…といった**トラブルになることが目立ち始めた**のです。

いくらやんちゃな男の子とはいえ、相手に手を出してケガをさせたり、友だちの持ち物を壊してしまうといったトラブルの回数が多いのでは？と気になり、定期的に担任の先生や学童の指導員と相談しながら、様子を見ていました。

息子の困りごとやトラブルについて、ネットでも検索をしました。ヤンチャな男の子のエピソードはたくさんありましたが、「成長すれば落ち着く」とか「男の子はそんなもの」といった**「様子を見ましょう」**的な内容ばかり。

確かに成長するにつれて、トラブルの数は減りましたが、内容はグレードアップ。

先生から怒られることも増え、ついに息子からは**「僕はみんなから嫌われてる」**といったネガティブな発言が出てきましたのです。



「みんなから嫌われている」  
これは幼少期の私の口癖と同じだ！

このままでは息子も、私の幼少期のように友達が離れて孤立してしまう！私のような人生は歩ませたくない！

そう思った私は、**息子がトラブルを起こすたびに、行動を正すために必死で叱りつけていました。**

そんな中、息子が小学3年生の時、息子のクラスメイトのお母さんからこんなことを言われました。

「息子くん、担任の先生からいつも怒られてて  
『お前はもう学校に来るな』って言われてたらしいよ。  
知ってた？」

学校でよく怒られてるんだらうな、ということは分かっていました。しかし、担任の先生から「学校に来るな」と言われていたとは知らず、ショックを受けました。

「私は周りの人とのつながりが少なすぎだ」と痛感したのです。

そして4年生になってから1ヶ月。  
息子の表情はだんだん暗くなり、



「うっせえ！」 「だまれー！」 「学校は地獄だ！」  
「どうせオレはダメ人間なんだよ！」

といった荒れた言葉づかいが増え、  
私に対して**暴力や無茶な要求**が容赦なく降りかかりました。

情けないことに、私は息子の荒れた言動にうろたえるばかり。  
**精神的に追い込まれてうつ状態**になり、駆け込むように心療内科に。

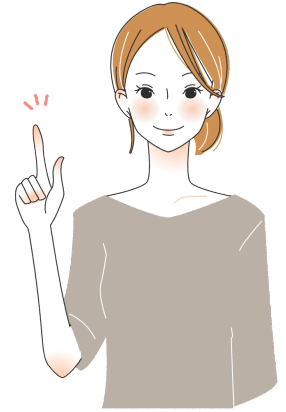
しかし私自身がコミュニケーションが苦手だったので、心療内科に相談しても思うように状況を伝えられませんでした。

そして「アンタ、なに言ってるのか分からないね」  
心療内科の医師に精一杯訴えたつもりがこの一言。  
とどめの一撃をくらった気分でした。

「もうだめだ。息子を主人に託して消えるしかない」  
と、トボトボと家に帰った時の情けなさは、今でも忘れられません。

息子を残して消えたい。でも、このまま消えるわけにはいかない。消える前に、息子に何か残したい。

最後の最後に自分の人生をかけるつもりで、もう一度立ち上がりました。



人付き合いが苦手なままでは進まない！

私が変わらなければならない！

でも私ひとりでは解決できない。プロの力を借りよう！

そう思った私は、ネットで解決方法を探しました。とにかく、解決の一手が欲しい！それ以前にコミュニケーションの方法を身に付けたい。

その時に目に止まったのが、吉野加容子先生が創り上げた「発達科学コミュニケーション」という新しい言葉でした。

「発達科学コミュニケーションってなんだろう？知りたい！」私は迷わずメルマガに登録、バックナンバーも全て読み、ノートに書き留めました。

とにかく私の悩みに当てはまる内容ばかりだったのです。

メルマガで紹介された内容を実践したところ、息子との関係が少しずつ改善していきました。



でも、もっと深く知りたい！

息子との関係を改善して、さらに息子の未来を明るくしたい！  
と思った時に個別相談の募集が。即座に申し込みました。

相談の際「また思いが伝わらなかつたらどうしよう…」と不安になりましたが、吉野先生から「わかりやすく説明してくださいね」とのお言葉が。

いつも私の話が分かりにくいと言われ続けた中、吉野先生の言葉で、私の今までの辛さが一気に解消した気分でした。

発達障害のこと、息子のことが次々とクリアになり、吉野先生が「お母さんは、このように対応してください」と具体的な方法を提示してくださった時には、やるべき事が次々見つけられました。

ちょうど夏休みのタイミング。学校に通っていない今のうちに子どもの状態を改善させたい！と思い、受講を決意。

ここから私たち家族の未来を変えるんだ！  
という気持ちでした。

発達科学コミュニケーションを受講して1ヶ月。**息子の持ち前のニッコリ笑顔が増え、できる行動も増えました。周りの人を気づかう優しさも出てきました。**

息子自身が、自分の得意なところと苦手なところを把握しながら、**行動をコントロール**している時もあり、私自身もビックリしています。

そして私の誕生日の時には、お祝いにカップケーキを作ってくれました。この時は本当に嬉しくて涙が止まりませんでした。

私も**母として自信を取り戻し**、子育ての軸をしっかり持てるようになりました。イライラした時も、すぐにクールダウンできるようになりました。

コミュニケーションが苦手。  
人と接するのも苦手。



そんな私が、発達科学コミュニケーションの講座を受けて自信を持つことができ、以前より積極的に人と接するようになりました。自分自身が、毎日新しくなっていくような感覚です。

子育ての軸が強くなり、子どもとのコミュニケーションにバリエーションが出てきました。知識と実践法をしっかりと身につけることで、子育てに関する**周囲の声に惑わされなくなりました**。

人付き合いが苦手な私が強く思ったのは、やはり「**子育てにコミュニケーションは不可欠**」ということ。

人付き合いが苦手なために、お母さんが自信を失ってしまうと、子どもの成長に影響する、ということ。

これに気付かれてるお母さんも多いですが、どうすれば、子育てに必要なコミュニケーションを身につけられるかの具体策が明確になっていないのが現状です。それこそ「**空気を読んで身につける**」の世界です。

私のように空気を読む力が弱い人は、空気を読むより、**淡々と知識を積み上げて実践する方が遥かに近道**です。



そこで私は、  
人付き合いが苦手なお母さんに必要な  
「コミュニケーション力」を身につけ、  
自信をもって子育てをしてほしい！

と思い、トレーナーになることを決意しました。

トレーナーになるということは、今まで以上に人と接する機会  
が増えるということ。

元々あまり社交的ではない私ですが、  
人と接することを楽しみながら子育てをしていきたい。

人付き合いの苦手意識を取り除いて、自信を持って子育てができる  
お母さんを増やしていきたいと思います。



癩癢、行きしぶり、他害の息子がどんどん変化！  
おうちでソーシャルスキルトレーニングにチャレンジ  
したいお母さんをサポートします！

親子のコミュニケーションをスムーズにして  
相手の気持ちが分かる子どもに育つ  
発達科学コミュニケーショントレーナー  
瀬名香織です。



瀬名 香織

わが家には1人息子がいます。

幼稚園に入園して暫くすると、**行き渋り**、**癩癢悪化**、**他害**が始まり親子で泣きながら登園、降園していました。

家でも癩癢が多く、子どもと過ごす時間が苦痛で仕方ない毎日でした。お友達とのあまりの違いに違和感を感じながらも、家族からは気のせいだと言われ、誰からも理解してもらえず一人で悩む日々を送りました。

思い切って医療機関も受診しましたが、「発達障害は治らない、これからどんどん周りとの差が付きます」と医師から言われ、どん底に突き落とされ目の前が真っ暗になりました。

何とか子どもを寝かしつけた後に明け方までネット検索⇒絶望、の出口の無い最悪なスパイラルに突入。市が運営している相談センターに診察予約するも半年待ち、療育先探しに奔走するも、良いところはどこもいっぱい待機待ち。

全てを待っているその間に息子の成長のチャンスを逃すのでは？何も出来ないのか！！と気持ちは焦り、自分の不甲斐なさにも落ち込むばかりでした。

ようやく個別療育や作業療法などに通えるようになり、成長も感じるものの、期待していたほどの成果は得られず、相変わらず集団生活で苦戦し他害もひどくなる一方・・・

園との話し合いもうまく行かず、傷だらけになりながらも、我が子を抱きしめ、一緒に泣くことしか出来ませんでした。



息子が今必要としているソーシャルスキルはどこに行けば身につけることができるのだろう…。ペアレントトレーニングを検索しまくるものの、なかなかこれと言ったものが見つからずに時間だけが過ぎて行きました

ますます検索魔になっていた時に発コミュのブログに出会い、  
藁をもすがる思いですぐに個別相談に申し込みました。

息子に役立つものが一つでもあれば、何か一つでもヒントがあれば、  
そんな思いでした。

学び始めると「こんなにシンプルで簡単で良いの!？」と驚き  
つつ、学んだ通りに発コミュを実践してみると、一つどころか  
どんどん変化、**成長する姿に喜びと感動の連続!**

癩癩持ちで言葉より先に手が出ていた息子が、保育園でお友達  
と口喧嘩したり、冗談を言い合えるようになりビックリ!

今では**行き渋りは全くなく、**  
**保育園が大好きっ子になりました。**



孤独で辛いだけの毎日を送っていた私自身も、発達障害は良く  
ならないという絶望感から卒業出来ました。

**コミュニケーション次第でソーシャルスキルは身につけていくし、息子は確実に成長するのだ！**

そう確信を持って子育てが出来るようになり、嬉しい涙を流すことが増えました。



発コミュに出会うまでは、家族からも理解が得られずカサンドラ状態だった私ですが、今では子育てをとっても楽しんでいきます。

これまでは長距離移動が怖くて実現出来なかった趣味の旅行に息子も一緒に行けるようになり、家族で余暇を満喫しています。

以前の私のように発達凸凹子育てに絶望や不安を感じているお母さん達を救うこと、おうちでソーシャルスキルトレーニングにチャレンジしたいお母さんをサポートすること、そして何より全ての子ども達の笑顔を守る！を使命に活動して行きます！

定型発達の子どもにも劇的な変化が！  
繊細なお子さんをもつお母さんの強力なサポーターになります！

「過保護」な会話術で、  
ひといちばい敏感な子の成長が加速する！  
発達科学コミュニケーショントレーナー  
渡辺カナです。



渡辺 カナ

繊細な子を伸ばす

コミュニケーション法をママに伝え、  
おうちで発達の悩みを解消する専門家として活動しています。

また、臨床心理士として公立小学校の  
スクールカウンセラーとしても活動しています。

臨床心理士、公認心理師。

3児の母です。

スクールカウンセラーとして活動する中で、

「私は本当に子どもたちやママの役に立っているのだろうか」  
という不安を抱き、

発達障害&グレーゾーンのために開発された、脳科学・教育学・心理学のいいところだけを抽出したメソッドである【発達科学コミュニケーション】を学び始めました。

学んだメソッドを、まずは自分の子どもたちに実践。

すると、いわゆる定型発達の我が子たちにも、劇的な変化が起きました。

**「これは絶対にたくさんのママたちの役に立つ」**

そう確信し、トレーナーとして活動しています。

スクールカウンセラーとして出会う、  
たくさんの繊細な子どもたち。



親子のコミュニケーションを、子どもをよく見て認める「過保護」にアップデートして、ひといちばい敏感な子（HSC）にママの努力や愛情をスムーズに伝えられるように。

繊細なお子さんをもつお母さんの強力なサポーターとして、お母さんの苦勞を理解し、味方になれる存在でありたいと思っています！

褒める育児に抵抗があった私でも、穏やかな気持ちで子どもに対応できるように！お母さんに寄り添い、変化の喜びを共有できるトレーナーとしてサポートします！

常識にとらわれないグレーゾーンの子育て  
「令和流しつけ」でラクになる！  
発達科学コミュニケーショントレーナーの  
岩下まいです。



岩下 まい

私は、約10年間会社員として働いたのち、セラピストとして活動しておりました。

私には、7歳長男と4歳長女の2人の子どもがいます。

長男は、乳児の頃からよく飲み、よく食べ、よく眠り、夜泣き等に悩まされることもほとんどなく、元気に走り回ったり、テレビを観ながら楽しそうに踊る子で、発育に疑問を持ったことがほとんどありませんでした。

そんな息子の発達の不安を抱いた最初のきっかけが、幼稚園のプレでの全体指示の通りづらさ、目的物に一直線で落ち着きのない息子の行動。

他にも似たような子がいたので、男の子だからこんなものなのかな、と思う部分もありましたが、三語文がなかなか出てこないこと等、不安材料も増えていました。

3歳児健診で発語が遅いことを相談し、幼稚園入園頃には不安要素も改善しているかも、と淡い期待を抱いていました。

三語文が増えてきた頃に幼稚園の入園を迎えましたが、入園式直後のクラスにて、クラスメイトとの**落ち着き度の明らかな違いに衝撃**を受け、のちに幼稚園とも話し合い**発達支援センター**へ相談することになりました。

相談後、改めて診察を受けたものの診断はつかず、息子に合う療育法を求めても、息子に提案されたのは就学前まで3か月～6か月ごとに受けられる臨床心理士さんのフォローと、小グループでの短期期間限定プログラム。

**支援センターでの対応の限界を知った**この段階で、親がなんとかしなくては。家でどうにか変えられないだろうか…  
という思いが芽生えたものの、



行動のひとつひとつが子どもってみんなこんなものじゃないの？と思えるようなことばかりで、家の中では困りごとをあまり感じていなかったこともあり、どう対処すればいいのか分からない状態でした。

たくさんの本や教材を揃えて実践してみても、長続きしなかったり、しっくりこない感覚が続きました。

幼稚園のイベントに行くと一人だけ**落ち着きがなかったり、ふざけていたり、悪目立ち**していることが多く、ゆっくりながらも成長を感じる一方で、突きつけられる**集団生活での現実**。

参観後、泣くのをこらえながら帰ったこともありました。

そんなことの繰り返しで、いつしか**幼稚園イベントに出向くことに恐怖**を感じるように。



そして、幼稚園でも浮いてしまうことで、周りのお友達に注意されることも増え、お友達と遊んでいてもケガをさせてしまわないか、トラブルになったりしないか等、ヒヤヒヤしながら目が離せなかったり…

そんな毎日にストレスを感じるようになった私は、だんだんと家庭内でも**できない事が目につくよう**になりました。

「なんでこんなこともできないの！」

「さっき言ったよね!？」

「いい加減にしなさい！」など、



何度言っても理解してもらえない事が続くと、**イライラして子どもを怒鳴ってしまう母**になってしまいました。

この頃から穏やかだった息子も**声を荒げたり、乱暴することが増え、自己肯定感も下がっていた**ように思います。

周りと比べては落ち込み、今後彼はどうなっていくのだろう…お友達が大好きで、優しい先生もいる幼稚園大好きっ子な息子が小学校生活は順調に過ごせるのだろうか？

お友達との関係がうまくいかず、授業にもついていけず、先生にも理解されず、「学校に行きたくない！」という日がきてしまうのかな…

そんなことを想像し、何もできないふがいなさや、なんでこんなに可愛い息子にちょっとしたことでイライラし、厳しすぎる子育てをし、感情が抑えきれず怒鳴ってしまうのだろう…

頭では本人が一番苦しんでいるはずだとわかっているのに、  
のびのびとさせてあげられない私はダメな母親。

求めすぎで辛いよね、ごめんね。

と、息子の寝顔に泣きながら謝ることもありました。



そんな時に、たまたま検索で見つけた吉野加容子さんのブログ  
にたどり着き、脳科学、教育学、心理学のメソッドを合わせた  
『発達科学コミュニケーション（発コミュ）』の存在を知りまし  
た。

元々“褒める育児”に抵抗のあった私は、そのメソッド以前に、  
これまでになかったと断言できるような的を得た問題提起をさ  
れていたり、圧倒的に『お母さん達に寄り添う専門家』である  
吉野さんに惹かれました。

専門家の著書やブログで救われる気持ちになったのは初めてで、  
そこから発コミュに興味を持ち、次第に吉野さんがメルマガで  
時々募集している個別相談にいつかお世話になりたいと思うよう  
に。

息子が小学校入学、娘が幼稚園入園、  
という子育ての節目が迫ってきている中、  
セラピストとしてより本格的に活動をしていきたい一方で、



自分の子育ては上手くいかず、家族すら癒せていない現状で、  
人を癒したいという思い自体に矛盾を感じ、このままでいいの  
か。と、常に悶々とした日々を過ごしていました。

そんな時期、吉野さんのメルマガで、リサーチャー・トレー  
ナー募集の個別相談を知り、どういものか知りたいと思い  
切って申し込みました。

個別相談で詳細を聞いていく中で、人に寄り添い悩みを解決し、  
人に喜びを与える仕事ができるという点など、**セラピストとし  
て共感できる部分と、私自身の悩みも解決できる点で、**

私が今求めているのはこれだ！という確信が持て、発達科学コ  
ミュニケーションのトレーナーになることを即決意。

(夫には事後報告でした。)

発達科学コミュニケーションを実践してからは、荒れがちだっ  
た**息子が優しさ溢れる行動**をするようになったり、**穏やかな気  
持ちで子どもに接している自分自身の変化**に気づき、夫にも驚  
かれました。

今後、息子に発達特性の壁が生じてても、**発コミュをベースに対応していける**のだという安心感、自信、未来への希望。

発達の特性の有無に関係なく、娘の発達にも絶大な効果を感じ、**発コミュ式育児が楽しい毎日**。

これまで沈んでばかりいた日々でしたが、  
ウソのように明るくなりました。



支援の限界を知ったあの時の、『親がなんとかしなくては。家でどうにか変えられないだろうか。』という思いを実現させてくれた発コミュには感謝しかありません。

同じ境遇で苦しむ親子を助きたい。

この素晴らしいメソッドをたくさんの子育てに悩むお母さんに  
知ってほしい。

**『この私ができるから、あなたにも絶対にできる！！』**

そんなスローガンを掲げながら、悩み苦しむお母さん達に常に  
しっかりと寄り添い、親子の変化の喜びを共有できるトレー  
ナーとして全力でサポートしてまいります。

自信のない教員が、迷いなく子どもと接することができるように！家庭で子どもを発達させる最強のお母さんを  
どんどん育てていきます！

親子のコミュニケーションをスムーズにして  
『支援級から進路を開拓する』  
発達科学コミュニケーショントレーナーの  
松尾まりかです！



松尾 まりか

トレーナーになるまでは、  
特別支援学校の教員を14年間務めていました。

私は、小さな頃から『先生』を夢見ていました。  
保育士の母親から「障害児教育こそ、教育の原点よ」と言われて  
から、その原点を知りたくて勉強し、大学では障害児教育専攻  
に進みました。

大学卒業後、地元に戻り、重症心身障害児、肢体不自由児、知的  
障害児教育に携わり、青年海外協力隊でアフリカでも特別支  
援学校へ勤務し、大学では学びきれなかった専門知識やお母さ  
ん対応を、実践の中で学びながら教員生活を送りました。

子どもたちに関われば関わるほど、**「もっと子どもたちを発達  
させたい！もっと効果的に発達させる方法があるはずだ！」**  
と、確信をもっていきました。

しかし、それが、なんなのかわかりたいのに、毎日の業務に追われ、納得できる勉強ができない日々。

経験はある程度あるけれど、**根拠がない。自信がない。**  
自分の思いはあるのに、経験が物を言う教員世界では、潰されてしまう。

悔しい想いを抱えながら、  
学校の子どもに心で謝り、仕事を続けていました。



そんなとき、育休中に、吉野先生のメルマガでリサーチャーとして発達科学ラボで学べることを知り、「チャンス到来！」とすぐに個別相談に申し込みました。

教員復職まで3ヶ月。

その3ヶ月間で、発コミュを習得し、**我が子との接し方にブレない軸をもつことができ、迷いがなくなったのを感じました！**

発達についても学べるだけ学び、『育休ボケなんて言わせない！』を宣言。再び、知的障害の子どもたちやお母さんたちと過ごす日々が始まりました。

働き始めると、**自分の明らかな変化を感じる毎日**で、自分でも驚きました。

今までできなかった、**子どもの発達の見立てが自然とできる！**  
**子どもへの接し方や授業の作り方に自信がもてる！**

結果、子どもたちの発達が加速していき、毎日が笑いと感動で溢れるクラスになっていきました！

また、お母さん方へ発コミュを伝えることで、まず**お母さん自身**が変化し、「**家庭での困りごとが解決したよ！**」と喜びの声があがりました。



やはり、家庭で困っていることは、家庭で解決していくことが、一番効果的だということを痛感。

そして、「もっと幅広く発コミュを広めたい！！」と思いが強くなり、悩みに悩んだ末、天職だと思っていた教員を退職しました。

これからは、発達科学コミュニケーショントレーナーとして、家庭で子どもを発達させる、最強のお母さんをどんどん育てていきます！

そして、支援級から進路を自ら開拓し選びとり、目標に向かってグングン進む子が、世に溢れる社会を創ることを使命に活動していきます！

癩癩がひどかった息子の変化に、夫婦で嬉し涙を流しました。今では息子の将来が楽しみでなりません！  
子どもの未来にワクワクできるママを増やします！

『イヤイヤ期が終わらない5歳児の  
「見る力」を鍛えて、お話上手にする！』  
発達科学コミュニケーショントレーナー  
中野すずなです。



中野 すずな

私の息子は今年、新一年生(6歳)になる、  
いわゆるADHD傾向のグレーゾーンです。

普段はとても感情豊かで優しい子、しかし些細な事で怒りやすく、一旦癩癩が始まると何時間も泣き喚く、そんな息子の子育てにずっと悩んでいました。

3歳過ぎててもほとんど言葉が出ず、コミュニケーションが上手く取れない事もあり、危険だからダメという説明も分からず、飛び出していく衝動性の強い息子に何度怖い思いをしたか知りません。



私はアメリカの大学で心理学を学び、4年間のボランティア活動、卒業後ADHDの子達をサポートする仕事に就いた経験があった事から、

息子に1日も早く療育を受けさせたい、と市に相談するも「様子見で」としか言われぬ状況に悶々とし、夜な夜なネットや書籍で答えを探す日々を送っていました。

様々な方法を試してみるも上手くいかず、いかに地雷を踏まずに過ごすが、当時取れていた唯一の解決策。

入園後は、周りの子達との違いに愕然とし、わがままな子、しつけられない母親、と見られるのが辛くて、好きだった家族ぐるみのお出かけからも、段々足が遠のきました。

次第に私が働いているのがいけないのかも..と追い詰められ、育児から逃げたい、そしてそんな自分が情けなくなる..といった負のループから抜け出せずにいました。

長い待ち時間を経て、何とか療育に入れた事で、これで明るい未来が来るものと信じて疑わなかった私。しかし言葉は出るようになったものの、癩癩はその後も続きました。

ペアレントトレーニングなど子育て講座を探しても、全て平日中のスケジュールの為、通えず。療育ではフルタイム勤務は私のみ。

やはり通わせる頻度が少ないからなのかと罪悪感に駆られるものの、有給は既に使い果たし、欠勤状態で通わせている私に、それ以上の選択肢はありませんでした。



園長先生に相談するも、

「お母さんが考え過ぎなだけです」と一蹴され、発達を専門とする小児科を受診するも、逆に心ない言葉に打ちのめされ、希望どころか**将来への不安でいっぱい**になりました。

どん底まで落ちた私は、そこで初めて、周りに頼って待ちの姿勢じゃダメだ！自分で何とかしなくては！という強い想いに駆られました。

そんな矢先、ネットで偶然に吉野先生のブログに出会いました。診断が下りるほどではないグレーゾーンの子達をパステルと愛情込めて呼ぶ先生、脳科学をベースにした説明全てが腑に落ち、「これしかない！」と個別相談に申し込み、発コミュをマスターすると決意しました。

いざ発コミュを実践し始めると、それまで毎日のように癇癢を起こし泣き叫んでいた息子が、**気持ちの切り替えがスムーズに出来るようになり**、**どんどん変わっていく姿に夫婦で嬉し涙を流しました。**

あれだけ不安な夜を過ごした私ですが、**今では息子の将来が楽しみでなりません。**



息子は友達を作るのが上手な人懐っこい男の子に成長し、あれだけ心配していた**言葉の面も年齢相応に伸びました。**

結局、子どもの事を一番理解し発達させられるのは、療育でも、病院でもなく、お母さんなのだ実感し、当時の私のように悩み苦しんでいるお母さん達に笑顔を取り戻すべく、発達科学コミュニケーショントレーナーになる事を決意しました。

これからは、お子さんの未来にワクワク出来るお母さんを、1人でも多く増やす事を使命に活動していきます！

そして、個性溢れる子どもたちが、得意を存分に伸ばしていける世の中作りに貢献していきます！

勉強に拒絶反応を示していた娘が「勉強って楽しいね」と言うように。子どもとお母さんの明るい未来を全力で応援します！

親子のコミュニケーションをスムーズにして、発達凸凹キッズが大学生になるまでの逆算子育てメソッドをお伝えしている発達科学コミュニケーショントレーナーの岡田凜です。



岡田 凜

小学校低学年期の発達凸凹で

「できない」を「できること」に変える！

お母さんのコミュニケーションで脳自体の発達を加速させ、大学生までに身につけたい力をつける専門家です。

グレーゾーン（LD）の小2女子と、

定型発達の年長男子の2児の母親でもあります。

娘は真面目な性格と思いやりのある性格で学校ではお友達とも仲良く、学校は楽しい！と毎日通っていました。一見何も問題がないように見える娘は、実は大きな困り事を抱えていたのです。

それは「勉強」です。



一般的に入学前にはできている基本的なお勉強も、娘は出来ていませんでした。

もちろんやらせなかったわけではありません。

市販ドリルや知育教材を買い、一緒に解こうとしても、**極度の拒否反応**。壁に張った数やあいうえお表も、ことごとく引き破られました。



**「勉強時間=かんしゃく」**の始まりでした。

そんな状態で新一年生になり、段々とできないことが明るみになってきました。

ただ、先生とは娘の出来ていないところ、よいところを含め毎日のように話をさせてもらえる信頼関係を築きました。

今日一日何をしたのか、どんなことで困っていたのかなど、娘からはほとんど話は聞けなかったので、先生からの話のみが唯一の情報源でした。

私はこの頃、**「この子のお勉強の遅れをなんとかして取り戻さなければ！」**と焦り、少人数塾に通わせ始めたのです。

小学校一年生、5時限授業を受けるだけでもよく頑張っている  
と今では思えるのですが、放課後まで塾で頑張らせていました。

一学期を終える時には担任の先生との個別面談で「困りごとが  
多い」ことを伝えられました。

困ると指なめや鉛筆かじりなど不安からくる症状が出ているこ  
とも伝えられました。自宅では一度もないことだったので、  
ショックを受けました。

また、この時発達障害の検査であるWISCIVを勧められました。

「この子、育てづらいな・・・」「なんでみんなのようにでき  
ないの？」と思いながらの育児ではありましたが、発達障害を  
疑うことはありませんでした。

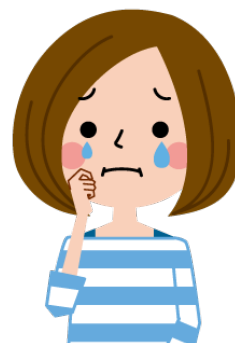
この時から私は、初めてその言葉と向き合うことになるのでした。

塾の先生からも、学習障害の心配を示唆され、娘にとって塾が  
負担になってはいないか？一対一の家庭教師の方が向いている  
のではないか？など、学校でも塾でもどちらでも多くの同年代  
のお子さんを見てきている両先生からの言葉に、私は頭が真っ白  
になったのを今でも覚えています。



当時住んでいたドイツにて、学校での「取り出し授業」の依頼を校長先生に直談判をしましたが、結論は「できない」という厳しい現実でした。

「日本の小学校のような支援が必要ならば、帰国してください」という内容まで飛び出し、話し合い後、どうにもならない現実に悔しくて涙が止まりませんでした。



それでも、諦めきれない私は、なんとかこの現状を打破したい！とドイツで発達障害の権威のある小児科の先生のところに出向き、そこでも多くの検査を受け、現地の作業療法にも通いました。

また、当時WISCIVをやっている日本人の方がいらっしゃらなかったのですが、探しに探し、他国に住んでいる日本人の臨床心理士さんを見つけ、その年の秋に受けることが出来ました。

「WISC検査」の結果、  
「グレーゾーン」であることを告げられました。

しかし、具体的な対応策も伝えられないまま日本に帰国となり、一年生のうちに転校することになりました。

ドイツでは思うように娘のための支援を受けることができなかったので、日本に帰ったらさぞかし手厚い支援・サポートが受けられるのだろう。と甘い考えで、新しい小学校に転校、担任の先生に相談しに行きました。

そこで思いもよらない言葉が返ってくることになったのです。

「1クラス当たりの人数も多いし、一斉教育なので、細かなサポートはできません」と断言されてしまったのです。その時は、頭を何かで打たれたような衝撃を受けました。

ここで私は、

「周りに頼るのではなく、自分でこの子をなんとかしよう！」  
「娘のために行動を起こす！」と決意したのでした。

- ・子どもの発達教育について学びたい
- ・子どもの心理について知りたい
- ・子どもの脳科学について学びたい



大学院に通おうか、でも単位取得のための授業に出席したり実習などで、子どもが小学校から帰ってきたときに迎えてあげられないことがわかりました。

「今一番娘に寄り添う必要のある母親」である私が不在では、本末転倒だと思い、夜な夜なスマホでネットサーフィンしているとき、偶然にも「発達科学コミュニケーション」のブログにたどり着いたのです。私は藁にもすがる思いで、個別相談に申し込みをしました。

個別相談では、衝撃の言葉を聞くことになったのです！勉強になるとかんしゃくをおこしていた娘との関わり方を根本的に覆されたのです！

**今までとってきた私の行動が娘にとっては逆効果だった！**

発達科学コミュニケーションにはその答えがありました。

今まで、多くの本を読み、夜な夜なネットサーフィンをして集めた情報に何かしっくりこないことが多かった私ですが、発達障害・グレーゾーンを脳科学の観点から紐解いたコミュニケーション理論には、納得のポイントがたくさんありました。

発達科学コミュニケーションに取り組み始めてからは、コミュニケーションがスムーズになり、娘も勉強にかんしゃくを起こさず取り組んだり、**「勉強って楽しいね！」**と言うまでになりました。



もし私が発達科学コミュニケーションに出会えていなかったら、  
ストレスを抱えたままの子育てがずっと続き、娘との関係性は悪  
化の一途をたどっていたと思います。

子どものことを一番理解しているのは、学校の先生でも病院の先  
生でも、カウンセラーでもありません。

私たち「お母さん」なのです！

そして子ども達も「お母さんのことを嫌いな子どもはいません」  
例え今関係が悪化していても、それは立て直せるのです！  
そんな奇跡のような体験してみたいと思いませんか。

- ・お母さんの心に寄り添いたい
- ・今ある「悩み」や「困り事」を解決したい
- ・笑顔の輪を繋ぎたい



真面目で日々全力でお子さんと向き合っているお母さんたちをサ  
ポートするために、私は発達科学コミュニケーショントレーナー  
になりました。

子どもたちとお母さんの明るい未来の為に、笑顔の為に、全力で  
応援していきます！

こじれていた親子関係が改善し、子どもの強みを伸ばせるように！シゴトを選べる大人に育てるための迷わない近道をお伝えします！

学校のルールからはみ出す宇宙人男子がシゴトを選べる子に育つ！  
発達科学コミュニケーショントレーナーのふくもとえりです。



ふくもとえり

愛しい我が子は、ADHDグレーゾーンの男の子。

周りに謝って回りながら、将来を心配し、どこまで厳しくすればこの子に「伝わる」のだろうか？と頑張れば頑張るほど、問題が増えていきました。その後、不登校を体験し、親子共に「闇」の中で病んでしまいました。

藁をもすがる思いで、病院、セミナー、療育などに足げなく通い、手にしたのは「様子見」という名の丸投げ。そして、約365日、200万円以上のお金と時間のロスでした。

必死の思いなのに、集まる情報は「正論」ばかり。

しかも、本人を前にすると、イライラしてしまい思ったような声掛けが出来ず。頑張っている分、もっと親子関係がこじれるという悪循環。

しかし、発達科学コミュニケーションと出逢って、  
その後の子どもとの会話は、激変！！！！



以前は子どもを叱ってばかりいたのに、**同じ視点で毎日笑い合え**  
**会話も楽しくなり、困りごとがドミノ式に改善。「子どもの強**  
**み」を前向きに伸ばすアイデア**も毎日溢れてくるように変化  
しました。

私が発コミュに出会えていなかったら、マイナスのサイクルの  
まま成人させて「**選べない人生**」にしてしまい、一生後悔した  
と思います。

不登校期間に一番不安だったこと。

それは「この子が将来どうやって生きていくのか？」ということ。

でも、絶対「シゴトを選べる大人になり、過ごしたい人生を幸せ  
に送って欲しい！」発達凸凹は裏返すと「人にはない才能！」

脳（心）を強固に発達させる親子の会話術と共に、学校では教えて  
くれない、家でしておくべきお金やキャリアの教育がとても  
大切です。

愛する宇宙人男子を前に、当事者として散々遠回りして必死に  
もがいてきたからこそ、「迷わない近道」を「的確に」伝えら  
れることが強みです。ご心配事がありましたら、心を込めて、  
寄り添います！

息子のこだわりの強さを、長所として伸ばすことができるように！ママたちの応援団長を目指して、しっかりサポートしていきます！

ママの声かけで子どもの「こだわり」が「強み」に変わり、親子の笑顔が増える！  
発達科学コミュニケーショントレーナー  
古屋聖子です。



古屋 聖子

長女の妊娠を期に仕事を辞め、出産。  
穏やかな生活の中、2歳差の長男誕生。

しかし、長男が2歳になった頃から、魔のイヤイヤ期突入。  
日に日にイヤイヤの度合いがパワーアップ。

「こだわり」や「自己主張」は、どんどん大きくなり、自分の思い通りにならないと、**かんしゃく**を起こすように。

小学校に入ると、ますますひどくなり、宿題をなかなかやらない、やっとやり始めたと思ったら、漢字が上手く書けず、消しては書き、消しては書きの繰り返し。**泣いて、バトルして、ひどい時には私に大声で怒鳴り、叩くように。**

毎日夜になると疲れ果て、「なんでうちの子は、こんなに育てづらいのだろう…」と泣きながら悩む日々。

あまりにかんしゃくやこだわりが強いので  
「発達障害なのでは」とカウンセラーや  
小児科の先生に相談するも、



「外で問題なく過ごせていて、むしろいい子ならば、発達障害とは言えませんね。やはりお母さんに対する甘えが強いのかも。男の子は多少なりともそういうところがありますから、小学校高学年になると落ち着いてくると思いますよ」

と言われてしまう。あと3年！そんなに待てない！その前に私が爆発してしまう!!

そんなときに、いつも行く処方箋薬局の薬剤師さんに教えてもらったのが、「発達科学コミュニケーション」でした。

その日の夜、ネットで検索し、この方法なら息子も私も今の辛い状況から抜け出せるに違いない！と思い、発コミュをマスターすると決意しました。

こだわりもかんしゃくも強かった息子が、実践して2週間したころには、**かんしゃくがほとんどなくなり、こだわりも和らぎ、穏やかに笑顔で過ごせるように。**

私も毎日イライラ、叱り続け、疲れ果てる毎日から解放され、息子と仲良く過ごせるようになりました！

今でも、こだわりが強い部分もありますが、それを**強みに変えられる方法が分かってきた**ので、息子も感情を抑えることができるようになり、本人の長所として伸ばしてあげられるようになりました。

もし、私があの時、発コミュに出会っていなかったら、今頃どうなっていたらと思うと、あの時、発コミュを教えてくださいました薬剤師さんに本当に感謝しています。

今まで毎日イライラして、子育てに自信をなくしていた私でも、子どもを心から愛おしい、子育てって大変だけどおもしろい！と思えるようになりました。

これからは、昔の私のように悩んでいるお母さんたちに寄り添って、「ママたちの応援団長」を目指して活動していきます！

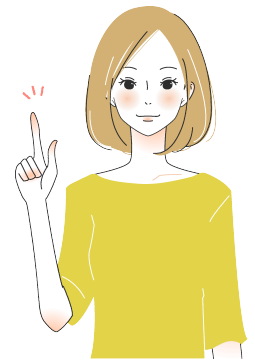


# リサーチャー

辛い育児から救ってくれた発コミュを、  
多くのお母さんに知ってほしい！という想いで  
情報発信をしています。

発達科学コミュニケーションリサーチャーの森あやです。

発達障害グレーゾーンの子どもを  
お家で伸ばす情報を発信しています。



私にはグレーゾーンの小学2年生の息子がいます。

小さな頃からちょっと育てにくいな、と感じる息子の育児に悩み、**イライラして叱ってばかりの毎日**を過ごしていました。

幼稚園に入園すると、**手が付けられない癪癪、強い衝動性、  
激しい行きしぶりと問題行動**が目立つように。

そんな息子に私はもうお手上げ状態。

息子と一緒にいるのがとにかく辛い…そんな状況から救ってくれたのが「発達科学コミュニケーション」でした。

「お母さん、息子くんの問題行動に騙されちゃダメ！この子は必ず変わるから！」吉野先生のこの言葉が私の背中を押してくれました。

そして吉野先生の言葉通り、発コミュのおかげで息子は**賢くて行動力のある、優しい男の子に成長**しました。

手が付けられない問題児も、お母さんがコミュニケーションを変えれば頼れる男子に大変身する！

ガミガミママから卒業できる！

一人でも多くのお母さんにこの真実を知って欲しい、という思いで情報発信をしています。

発達障害・グレーゾーンの  
苦手にアプローチする

**教材** できました!

学習にも  
アプローチ!

脳にも  
効く!

がんばった  
記録が  
残る!

まない! /

不登校キッズの  
**未来創造  
プロジェクト**  
Project

子どもの未来につながる  
今の過ごし方を創造しよう

**特集** 不登校生活を充実させるママの新常識!  
元不登校さんの今の活躍に迫る! ほか

**進路の選び方**

→ 進学するときの選択肢とは?  
→ 進路選びで注意する事とは?

私と子どもの将来を救ってくれた発コミュを広げたい！  
ワクワクした人生を歩む親子があふれる世の中にするため  
にWeb担当になる決意をしました！

発達科学コミュニケーションリサーチャー広路貴代江です。  
発達科学ラボで運営しているパステル総研の  
Web担当をしています。



小学4年生と年中兄弟の母でもあります。  
私は子どもが生まれ、子育てが始まり、  
子どもってものすごくかわいい！

そう思う反面、

子育てってなんて大変なんだろう…

これを笑顔でこなしている  
世のお母さんてなんてすごいだろう…

ツライとってしてしまう私は母親にもなって、  
何てわがままなんだろう…



そんな後ろめたい気持ちがありました。

子どもには**癪癪**や**こだわり**があり、**整理整頓が苦手**で、なくし  
物もたくさんありました。叱ったわけではなく、アドバイスした  
だけなのに**反抗的な態度**をとられ、こちらも**怒りが爆発**すること  
もしょっちゅうでした。

もっと寛大に接しなきゃ。子どもに困り事が多いのも、  
子育てがうまくいっていないのも、  
私の接し方が悪いだけなんだろう、  
と思いました。



でも、どうしたら子どもの困りごとが減って子育てがうまくいく  
のか、母である私はどう変われば良いのか、分かりませんでした。  
た。

もしかしたら、発達障害グレーゾーンなのかな、そもそも子どもの  
発達が分かったら子育てに悩まないのかもしれない、そんな  
思いも加わり、ネット検索をする日々の中で、偶然、発達科学  
コミュニケーションに出会いました。

ブログには発達障害の説明や、接し方、困りごとへのアドバイス  
など分かりやすく書いてあり、しかも子どもの発達が脳科学的に  
分かる、まさに求めていたものだと感じました。

けれども会社ではない起業家のサービス。  
ネットで見つけたものを易々と信用していいものか、  
とても葛藤がありました。

それでもだんだんと親子関係が悪化してきていて、不安でした。取り返しのつかないほど親子関係が悪化して、家族が壊れてしまうのは絶対に嫌だ、という思いに突き動かされ、受講を決意しました。

受講の内容を実践し始めると、最初の2週間ですぐに変化を感じられました。**子どもの笑顔が増えて、生き生き**としてきました。

ものすごく嫌そうな態度を取っていた食器の片付けも、  
**「なんだか体が軽くてサクサク動けるんだよね〜！」**  
と、ささっと片付けてくれたのです。



その子どものキラキラとした姿が、今までの姿とあまりにもギャップがあり過ぎて、今まで苦しい思いをさせてしまったと涙が出ました。

発コミュは私と子どもの将来を救ってくれました。

発コミュは発達障害の子どもだけでなく、すべての子どもたちに必要だ、世の中にもっと広がって欲しい！

そのために何か手助けがしたい、そう思っていたので、時々募集がかかる発達科学ラボの仕事に興味がありました。

家で仕事ができる、ということもとても魅力的でしたが、起業家という働き方は私にはあり得ませんでした。保障がない、ホントに稼げるのは一握り、そう思っていたからです。

それでも少しでも関わっていたい、発達科学も学びたい、そう思い、リサーチャーになりました。

発達科学ラボではマイプロデュースデザインといって自分の叶えたい未来を描き、その未来を叶えるために目標を立て、自ら学びや仕事をすすめていきます。

自分の叶えたい未来を描くのですから、とてもワクワクする作業です。



その頃私はシステムエンジニアで正社員として働いていましたが、**子育てと仕事の両立に限界を感じながらも、正社員という安定に必死にすがりついていました。**

会社でも同じように初期に業務やスキルアップの目標を立てるのですが、これがものすごく苦しい作業でした。会社が求める未来への道筋が全く楽しい事に思えなかったからです。

私のやりたいことが会社の求める未来と全く重ならなくなってしまった事に気づき愕然としました。

いくら正社員が安定しているとしても、こんなに苦しいと思う目標に向かって定年まで歩めるの？それは耐えられない。耐えたくない。

**私はワクワクする人生を歩みたい。**

そう考えたとき、仕事を辞め、パステル総研のWeb担当になることを決意しました。

私と同じように、発コミュを知り、ワクワクした人生を歩む母と子で溢れる世の中になってほしい！

この願いを胸にWeb担当としてまい進して参ります！



私たち発達科学ラボが運営する  
『パステル総研』は  
こちらからご覧いただけます！  
<https://desc-lab.com/>

Check!

自分も子育てに役立つ話題を発信したい！

無料オンライン個別相談

読者特典90分

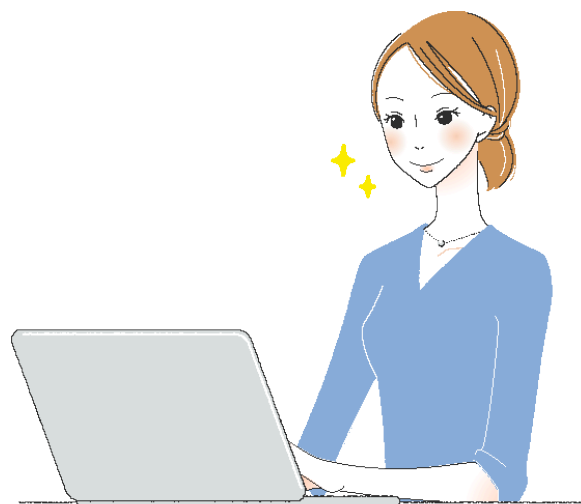


発達科学の専門家となって

自分にしかできない  
子育てと仕事を

スタートさせる個別相談会

おうちで  
夢を叶えるチカラを  
手にしたい方！



パソコン/スマホ/タブレットがあればお家から相談できます

▼お申し込みはこちらから▼

<https://yoshinokayoko.jimdofree.com/発達分野で働く/>

スマホでリンクにつながらない場合は、ダウンロードしてからクリックしてください

03

## 発達科学ラボの仕組み



ゼロから発達科学をマスターできる！

## 1. 発達科学コミュニケーションとは？

発達科学コミュニケーション(発コミュ)は、

お母さんが普段の声かけを変えるだけの子育てメソッドです！

ママが忙しくても続けられるし、子どもの協力もいらないから  
カンタン♪たった4回のレッスンで、ママの一言で子どもの脳  
を動かす接し方が身につきます！

講師から、動画やオンラインで講義を受けるので、本を読むより  
簡単で、わかりやすく学べます！しかも、学んだことをお家で  
即実践できるので、お子さんの成長もどんどん進みます！

発コミュで子育ての悩みが解決できたら、発達科学ラボでは  
トレーナー・リサーチャーとして、さらに学びを深めていくこ  
とができます！



## 2. リサーチャーって何？

発達科学の勉強をゼロから学べるのがリサーチャーです！

すべてオンラインで受講できるので、家にいながら講義を受けることができます。

- ✓ パステル総研の記事を書いたり、
- ✓ アンケート調査をしたり、
- ✓ 教材開発をしたり。



収入を得たい人は、**学びながら、裏方の在宅ワーク**をすることができます！リサーチャーは仕事をしない選択も自由で、**学ぶだけでもOK**です。リサーチャーとして学んだ後、自信がついたらトレーナーとして起業することも可能です！

## 3. リサーチャーになるには？

発達科学ラボの上級講座を受講すれば、リサーチャーになれます！発達科学コミュニケーションのメソッドだけでなく、**発達科学をゼロから学びたい人や、お子さんに合わせた発達サポートをもっと勉強したい人**向けです。

リサーチャーは、ゼロから学んでいるママが大半ですが、臨床心理士、保育士、特別支援教諭、医師、看護師などの専門家の方々も学ばれています。

仲間ができること、困ったらすぐに相談できるメリットが好評です！

#### 4. トレーナーって何？

お子さんの特性を研究して専門知識がいたら、**起業をして発コミュを教える講師の仕事**をすることができます。

年齢や発達タイプによって、トレーナー独自のポジションをつくるので、ハードルは高くありません。

家にいながら、自分のペースで社会貢献になる仕事ができます！

- ✓ 集客、
- ✓ 相談の受け方、
- ✓ 発コミュの教え方、

これらをマスターしていきます！

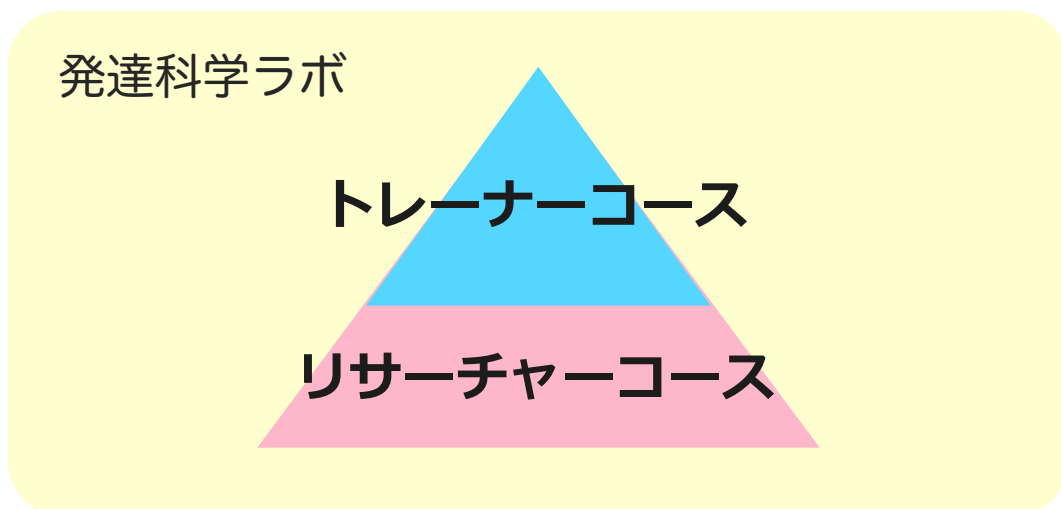


## 5. トレーナーになるには？

リサーチャーと同様に、発達科学ラボの上級講座の受講で  
トレーナーになれます。

トレーナーも在宅でできる仕事で、お子さんと関わる時間を減  
らさずに、むしろ、**発達科学を武器にできる子育てに有利な働  
き方**です！

リサーチャーから始めて、自信がついてからトレーナーに進むこ  
ともできます。起業するカタチになるので、月商7桁に到達して  
いるトレーナーもいます。



## 6. 起業したい、フリーで働きたいママへ

発達コミュニケーターやリサーチャーは、発達障害やグレーゾーンの子育てをするママを、専門的にサポートする新しい職業です。

発達サポートは本来、子どものためだけでなく、お母さんや家族のストレスも取り除くものであって欲しい！

お母さんには、後悔のない子育てをして欲しいですし、自分と家族の人生を豊かにする「発達」の仕事をしてほしいという願いもあります。

だからこそ、私が目指したのは「ママの味方になる仕組み」です。

働く時間と場所を自由に決められる働き方で、子育てに余裕もできるし、収入も得られる。

今まで難しいと思っていたことが、職業の選び方を変えるだけで、一気に可能になる。

子育てに有利なライフスタイルを得たい人は、ぜひ個別相談にお越しくださいね！

お話しできることを楽しみにしております。



自分も子育てに役立つ話題を発信したい！

無料オンライン個別相談

読者特典90分

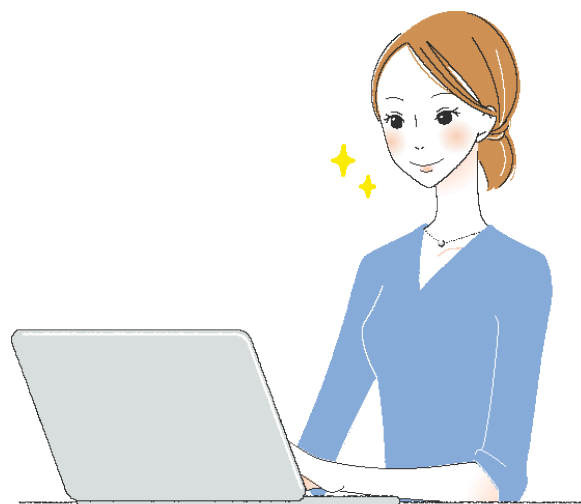


発達科学の専門家となって

自分にしかできない  
子育てと仕事を

スタートさせる個別相談会

おうちで  
夢を叶えるチカラを  
手にしたい方！



パソコン/スマホ/タブレットがあればお家から相談できます

▼お申し込みはこちらから▼

<https://yoshinokayoko.jimdofree.com/発達分野で働く/>

スマホでリンクにつながらない場合は、ダウンロードしてからクリックしてください

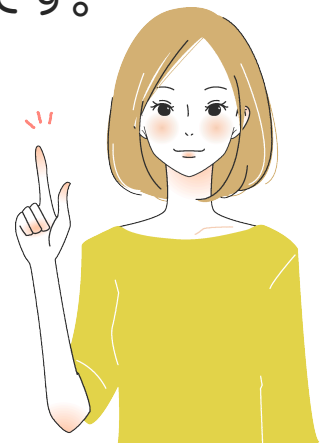
## おわりに

いかがでしたか？

お母さんのライフスタイルが  
発達障害・グレーゾーンの子どもにどれだけ影響するのかを  
理解していただけたのではないのでしょうか？

これからのお母さんたちに必要なのは  
「子育ても仕事も諦めない！」という新しい常識です。

ぜひ、今日からご自身の生き方について  
考えてみてくださいね。



パステル総研を運営する発達科学ラボには、  
発達障害グレーゾーンのお子さんの子育ての悩みを解決し、  
発達をぐんぐん加速させるためのお母さんの学びの場があります。

ぜひこの機会に、お母さん自身も楽しく学んで、  
お子さんに背中を見せていきましょう！

このコロナ休校をチャンスに変えることができるように  
心から応援しています！

## 著作権について

### 法的事項

本教材および収録されているコンテンツは、著作権、知的財産権によって保護されていることはもちろんですが、購入ダウンロードされたコンテンツは、あなたの子育てに役立てる途に限定して提供しております。

教材に含まれているコンテンツを、一部でも、書面による許可（ライセンス）なく複製、改変するなどして、またあらゆるデータ蓄積手段により複製し、オークションやインターネット上だけでなく、転売、転載、配布等、いかなる手段においても、一般に提供することを禁止します。

2020年5月

Copyright©2020-パステル総研